

決算に係る主要な施策の成果

平成25年度

伊勢市

目 次

○ 決算に係る主要な施策の成果説明書

一 一般会計

議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	19
衛 生 費	38
労 働 費	52
農 林 水 産 業 費	55
商 工 費	64
観 光 費	68
土 木 費	76
消 防 費	94
教 育 費	103
災 害 復 旧 費	126
公 債 費	127
国民健康保険特別会計	128
後期高齢者医療特別会計	131
介護保険特別会計	132
観光交通対策特別会計	137
都市計画税の充当状況	138
費目別不納欠損の状況	139

主 要 な 施 策 の 成 果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予 算 現 額 346,842 千円
 決 算 額 343,817 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				343,817

議 会 事 務 局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書
1. 政務活動費	2,863	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	頁 111
2. 議会広報経費	7,989	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配布した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をケーブルテレビで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送及び定例会終了日の翌々日午後8時から再放送 本会議放映 1日2回、再放送1回 延べ20日 予算・決算特別委員会放映 1日2回、再放送1回 延べ9日 ○会議録インターネット配信 市議会本会議の会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	111

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 2,062,323 千円
 決算額 2,018,115 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32	4,801		9,322	2,003,960

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	157	第二次行財政改革大綱実施計画の一つの取組である事業総点検を実施した。事業総点検は、平成23年度から平成25年度にかけてすべての施策事業を点検するものであり、外部委員（行政改革推進委員5名）による外部点検と、情報戦略局による内部点検からなる。平成25年度の外部点検は計3回開催し、10事業を点検した。また、3年間の総括を行い事業総点検結果報告書をまとめた。	113

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>地域自治推進事業</u></p>	<p>52,304</p>	<p>「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、各小学校区に「地区担当職員」を配置し、地域自らのまちづくりを支援するとともに、その取り組みに対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図った。また、地域リーダー養成のための研修会や市民の自治意識の啓発のための講演会を開催した。</p> <p>○平成24年度までに設立済 13組織 (14学区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生地区まちづくりの会 ・小俣まちづくり協議会 ・沼木まちづくり協議会 ・明倫地区まちづくり協議会 ・神社地区まちづくり協議会 ・修道まちづくり会 ・佐八学区まちづくりの会 ・大湊町未来づくり委員会 ・四郷地区まちづくり協議会 ・高城まちづくりの会 ・進修まちづくりの会 ・浜郷地区まちづくり協議会 ・中島学区まちづくり協議会 <p>○平成25年度 5組織 (5学区) 設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城田地区まちづくり協議会 (H26. 1. 24設立) ・豊浜東まちづくり協議会 (H26. 2. 19設立) ・豊西まちづくりの会 (H26. 2. 20設立) ・二見まちづくりの会 (H26. 3. 1設立) ・北浜まちづくり会議 (H26. 3. 23設立) <p>「地区みらい会議」の事務運営、活動事業にかかる財源として、ふるさと未来づくり支援補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務運営費 28,137,296円 (17組織) ・家賃等補助加算 4,880,000円 (11組織) ・活動事業費 15,799,991円 (17組織) <p style="text-align: center;">計 48,817,287円 (設立済 18組織(19学区))</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 65,714,000円 ・新たなまちづくり講演会 ・まちづくり人材養成講座 ・市民活動補償制度 ・ふるさと未来づくり支援補助金 など</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 31,104,451円 (設立済 13組織(14学区)) 事業全体 36,896,601円 平成23年度 11,150,974円 (設立済 3組織(4学区)) 事業全体 13,936,499円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成27年度の制度開始を目指して、地区みらい会議が19学区立ち上がり、さらに3学区が設立準備会で協議している。(平成25年度末現在)。</p>	<p>113</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 自治会コミュニティ放送整備補助事業	76,485	<p>地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。</p> <p>交付金額 76,485,000円 (17自治会) <内訳> ・拡声放送 5,800,000円 (3自治会) ・戸別受信機 56,201,000円 (9自治会) ・メール配信 14,484,000円 (5自治会)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 107,000,000円 ・戸別受信機放送設備整備事業 99,500,000円 (28自治会) ・拡声放送設備整備事業 7,500,000円 (3自治会)</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度からの事業開始のため、実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 自治会の放送設備等の整備にかかる経費の負担及び自治会の情報伝達手段の決定に時間を要しているため、当初より補助金交付件数、金額とも下回った。</p>	113

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 6,156 千円
 決算額 5,293 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			157	5,136

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	5,293	<p>伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。</p> <p>(1) 実施実績 ①一般研修 (人材育成カレッジ除く) 研修数18回 受講者数 1,022名 ②一般研修 (人材育成カレッジ) 研修回数53回 受講者数 1,258名 ③派遣研修 研修数55回 受講者数 149名 (2) 研修評価 (受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 79.1% 一般研修 78.5% 派遣研修 90.5% ②意識向上度 研修全体 66.8% 一般研修 65.7% 派遣研修 90.5%</p>	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 51,735 千円
 決算額 49,697 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,683	47,014

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行事業	26,133	「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政の方針や事業計画・各種制度の概要、市の行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	115
2. CATV広報いせ放送事業	17,456	特集番組とお知らせ番組に分け、地域に根ざした行政情報番組を制作し放送した。 特集番組については、タレントをリポーターとして起用し、分かりやすく親しみをもって見られる番組づくりを行った。平成24年から開始したケーブルテレビ放送終了後のYouTubeへの掲載も継続して行った。 お知らせ番組では、キャスターのナレーション時に、イベントの告知や広報いせなどの広告募集のキャスター前告知板を設置した。昨年度から放送している「桂三輝の伊勢で一席」では、放送時間を5分から10分程度に拡大し、ナレーションを使うことで、より分かりやすく伊勢の魅力紹介を行った。 伊勢志摩定住自立圏形成協定の取組として、年末年始に行う「パーク&バスライド」のお知らせ放送を各市町でも放送した。	115
3. インターネット情報発信事業	3,466	ホームページをリニューアルしてから、1年が経過したため、年間のアクセスログを確認し、利用者のアクセスの状況等を参考に、より利用しやすいホームページになるように作業を行った。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）機能を利用する「ツイート」「facebookいいね!」「Google+」ボタンを設置し、スマートフォン用サイトには、「LINEで送る」ボタンも加えて設置した。 誰もが利用しやすいホームページを構築するためのアクセシビリティ調査に基づく職員研修では、視覚障害者の方が利用している音声ブラウザを実際に使用し、ページ作成時の注意点を確認した。 ・トップページ閲覧件数（平成25年4月1日～平成26年3月31日）…1,061,327件（88,444件/月）	115
4. 各種相談事業	2,556	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・登記などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は343人（1回平均6.6人）であった。	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 364,530 千円
 決算額 334,264 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,423			250	320,591

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム 管理経費	104,429	<p>住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの保守管理等を行い、システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、市税等に関する各種帳票の印刷業務並びに総合住民情報システムの稼働において必要となる各種資料・情報を作成するためのイメージデータの読取業務やデータ穿孔業務等について、外部委託を行い、業務を適正に履行した。</p> <p>なお、各種帳票及び資料・情報作成業務に係る来年度以降3年分の委託先業者を入札により決定し、来年度の業務履行に向けた諸調整を行った。</p>	117
2. 行政情報システム 管理経費	133,252	<p>財務会計・文書管理・電子決裁・人事給与・庶務事務・グループウェア等の行政情報システム（内部情報系）、インターネットシステム及びネットワークシステムの保守管理等を行い、各システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、平成26年度に保守サポート期限を迎える内部情報系システムについては、平成25年度から平成26年度にかけて、クラウド方式でのサービス利用形態による新システムへの更新に取り組み、平成25年度稼働対象のシステムを稼働させた。</p>	117
3. ITセキュリティ 対策事業	89,329	<p>WindowsXPの保守サポート終了に対応するため、内部情報系端末について、新規に端末や増設メモリーを購入するとともに、設定等作業を業務委託し、Windows7への更新を適正に行った。</p> <p>全庁のクライアント端末内に保存している情報を一元管理するとともに、ユーザ（職員）からその情報へのアクセス権を管理するため、ファイル・ユーザ認証サーバを導入し、情報共有の効率化とセキュリティレベルの向上を図った。</p> <p>その他、ウィルス対策ソフトの更新等を行い、市民の大切な情報資産の安全管理と情報セキュリティの向上を推進した。</p>	117

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 11,935 千円
 決算額 8,640 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			462	8,178

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 公共施設マネジメント事業	361	<p>公共施設マネジメントの取組みの一環として、講演会を開催した。また、伊勢市公共施設マネジメント白書ダイジェスト版を増刷し、市民及び庁内の意識啓発を行った。</p> <p>開催 平成26年2月22日 演題 「朽ちるインフラ」 講師 東洋大学経済学部教授 根本 祐二氏</p> <p>【当初予算における内容、計画】 公共施設マネジメント事業 742,000円 ・施設全体の現状把握 ・基本方針の構想を検討 ・講演会開催等による啓発 ・施設のあり方を考えるための情報発信</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 情報調査一般経費のうち 公共施設マネジメント事業にかかる経費 1,292,110円 ・伊勢市公共施設マネジメント白書の発行等 平成23年度 公共施設情報整理事業 8,925,000円 ・伊勢市公共施設マネジメント白書の作成業務委託</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成24年8月に伊勢市公共施設マネジメント白書を発行し、課題の共有を図ってきた。 ・広報誌への連載等により意識啓発を図ってきた。 ・総務省より平成26年1月、公共施設等総合管理計画策定指針(案)が示されたことから、正式な指針の発出を踏まえることとした。</p>	頁 117

企画調整課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 定住自立圏構想推進事業	231	<p>定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で、伊勢志摩定住自立圏を形成した。</p> <p>また、連携して取り組む事業を明らかにするため、伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの策定を進めた。策定に当たっては、圏域の関係者17名で構成される懇談会を開催し、圏域の課題等について協議、懇談を行った。</p> <p>○平成25年4月23日 伊勢志摩定住自立圏推進協議会の設立</p> <p>○平成25年7月18日 2市5町と協定締結</p> <p>○伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会を3回開催</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 786,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 共生ビジョン懇談会開催に係る経費（3回分） （委員謝礼、費用弁償、会議用お茶等） 国県等との調整に係る職員旅費 <p>【過去2ヵ年度の実績】 予算執行なし</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 伊勢志摩圏域においては、人口減少、少子高齢化の進行が顕著な状況にあり、必要な生活機能を確保するとともに地域の活性化を図ることが重要な課題となっている。 圏域市町は、今後とも継続的な協議・調整のうえ、連携して実施することが有効な事業については、役割分担を行い取り組んでいくことが求められている。</p>	117

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域審議会運営経費	6	<p>市民の声を市政に反映させるため、合併前の旧市町村単位で設置された市の附属機関。当事業は、各地域の審議会の正副会長会議や委員交流会を開催し、市長からの諮問に対する答申や審議会の活動状況報告、その他市の施策に対する意見交換の場として運営している。</p>	117

(款)2 総務費

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,543 千円
 決算額 1,459 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,459

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進都市事業	1,232	主に市民の意識啓発のための取り組みを、公募市民で組織する「男女共同参画れいぼう伊勢」に委託して実施した。また、企業への啓発のため、事業所訪問と企業向け研修講座を開催した。 市民向けの取り組み ・映画祭、講演会、各種講座、街頭啓発など ・広報いせへ啓発記事掲載 企業向けの取り組み ・企業訪問 19社 ・企業対象研修講座 3回開催参加者延べ52人	119

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 17. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 601,006 千円
 決算額 491,625 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,123		273,400	8,139	170,963

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	91,112	本庁舎の老朽化による空調設備、照明設備及び電話交換機設備等の改修工事を行った。 (概要) ①平成24年度から一部繰越 東庁舎空調設備取替 一式 ②平成24年度から繰越 東庁舎照明設備取替 一式 ③現年分 本庁舎防犯カメラ設置 一式 本庁舎電話交換機改修 一式 本館3階電話交換機室改装 一式 ほか	121
2. 庁舎津波浸水対策事業	226,405	三重県より発表された東海・東南海・南海3連動地震による津波の予測図に基づき、浸水による本庁舎の停電予防対策を主としたエネルギー棟を本館北側に新設した。 (概要) 平成24年度から繰越 建築工事、機械設備工事、電気設備工事、監理業務委託 一式 (鉄筋コンクリート造2階建 L=298.18㎡)	121

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. エレベーター防災 対策改修事業	36,177	エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。 (概要) 【改修箇所(所管課)】 伊勢市役所東庁舎(管財契約課) 二見総合支所(二見地域振興課) 小俣総合支所(小俣地域振興課) 御菌総合支所(御菌地域振興課)	121

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	488	二見総合支所が所管する施設の適正な管理のため、必要な整備を行った。 ・二見老人福祉センター前駐車場区画線等修繕工事 357千円 ・二見総合支所多目的トイレベビーシート設置工事 131千円	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 19. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 93,798 千円
決算額 89,449 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,538			11,012	61,899

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	12,882	平成16年4月にいせ市民活動センターを開設し、同年7月から指定管理制度を導入して運営している。平成24年度から第4期目(5ヵ年)に入り、特定非営利活動法人いせコンビネットが管理運営を行っている。 平成25年度指定管理料 11,870,000円	123
2. コミュニティ助成 事業補助金	9,800	(財)自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。 交付決定団体は7自治会	123
3. 元気なまちづくり 協働事業補助金	8,518	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 交付決定団体は148自治会 交付確定団体は147自治会	123

(款)2 総務費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 活性化活動事業補助金	646	市内で活動する地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手として継続的に活動できるよう、その経費の一部を補助した。 〔交付団体数〕6団体 〔交付金額〕600,000円 (100,000円/団体)	123
5. 伊勢のまつり開催事業	6,610	市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催した。 〔開催日〕10月12日(土)、13日(日) 〔会場〕高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線～伊勢市駅周辺 〔参加団体数〕229団体(6,252人) 〔来場者数〕約20万人	123
6. いせ市民活動センター防災対策事業	2,205	震災時に避難所となる「いせ市民活動センター」のガラス面に飛散防止フィルム等の貼り付け工事を行った。 〔施工費〕2,205,000円(国補助率50%)	123
7. エレベーター防災対策改修事業	15,488	建築基準法改正により既存不適格となっていた「いせ市民活動センター」のエレベーターの改修工事を地域の元氣臨時交付金を活用し行った。 〔施工費〕15,435,000円(国交付金100%)	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 138,559 千円
決算額 138,411 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				138,411

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地区連絡員事業	102,386	行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員(178人)を配置し、行政情報等の伝達を行った。	123
2. 区長謝礼事業	7,270	市内173自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	123
3. 振興助成金事業	27,325	地域における自治活動を支援・推進するため市内173自治会に助成金を交付した。	125
4. 総連自治会運営補助金	1,430	市内163自治会が加盟する伊勢市総連自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	125

(款)2 総務費

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 2,272 千円
 決算額 2,176 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	688		101	1,387

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 国際交流推進事業	2,176	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民に「防災ガイド」等の全戸配布を行った。 ・伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供及びボランティア活動の推進に努めた。 ・多文化共生に関する施策について県内の他自治体と意見交換を行った。 ・「外国人をサポートするための避難所運営訓練」を実施した。 	頁 125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. コミュニティセンター費

(単位 千円)

予算現額 15,885 千円
 決算額 13,595 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
719			1,517	11,359

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地区コミュニティセンター防災対策事業	1,439	震災時の飛散防止等のため、地区コミュニティセンターのガラス面にフィルムの貼り付け工事を行った。 [施工費] 1,438,500円 (国補助率50%) [施工施設] 宮本・城田・沼木地区コミュニティセンター	頁 125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 54,630 千円
 決算額 48,235 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
791				47,444

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 防犯啓発事業	4,384	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するため、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成25年度の講習会開催状況は、次のとおりである。 平成25年度 32回 1,020名参加</p> <p>○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止のため、伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員と街頭啓発に努めた。平成25年度の実施状況は、次のとおりである。 平成25年度 12回</p> <p>○地域安全展の開催 伊勢度会地区生活安全協会と共催で、伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 日時 ・平成25年10月13日(日) 内容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・似顔絵 ・防犯機器等の展示 ・その他啓発用品の配布</p>	頁 125

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 防犯灯設置等補助 金	33,820	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。</p> <p>平成25年度 33,820,410円 (16,464灯) 内訳 整備 2,581,260円 (96灯) 修繕 2,952,430円 (2,623灯) LED取替 10,643,920円 (1,039灯) 電気 17,642,800円 (12,706灯)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 41,256,000円 (17,671灯) 内訳 整備 4,340,000円 (155灯) 修繕 6,420,000円 (4,280灯) LED取替 14,700,000円 (980灯) 電気 15,796,000円 (12,256灯)</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 31,709,460円 (16,484灯) 内訳 整備 3,320,850円 (114灯) 修繕 4,428,880円 (3,165灯) LED取替 6,944,130円 (660灯) 電気 17,015,600円 (12,545灯)</p> <p>平成23年度 24,931,022円 (16,166灯) 内訳 整備 3,098,710円 (131灯) 修繕 7,118,340円 (4,143灯) 電気 14,047,590円 (11,856灯) 小保まちづくり協議会LED化推進事業 666,382円 (36灯)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・自治会の整備等に対し補助を行う制度であり、補助金申請の有無、防犯灯の消耗状態、電気料金の価格変動により、交付決定額を決定するため、予算と差異が生じる。 ・平成24年度から概ね10年計画で、省電力でCO2排出量の削減、長寿命のLED防犯灯への移行を進めている。</p>	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 24. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 217,470 千円
決算額 126,920 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,500	790	7,300	466	97,864

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐輪場管理事業	3,583	<p>公共の駅前駐輪場の自転車等の長期放置を防止するため、機能喪失長期放置自転車等の整理撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。</p> <p>平成25年度は、市内駐輪場等で362台の長期放置自転車を撤去した。</p>	127

(款)2 総務費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>駐輪場整備事業</u> <u>(交付金)</u>	28,266	<p>宇治山田駅周辺等において、放置される自転車が後を絶たない。そのため、駅前の美観はもとより、道路交通の安全の確保を図り、駐輪場の適正な管理をするため、駐輪場の整備を行った。</p> <p>①平成24年度から繰越 駐輪場整備 一式 3件 案内表示板設置 一式 1件 用地 一式 1件</p> <p>②平成26年度へ繰越 案内表示板等設置 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 96,188,000円 ・案内表示板等設置 一式 繰越予算額 83,688,000円 ・測量・設計業務 一式 ・駐輪場整備 一式 ・用地 一式</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成24年度からの新規事業であるが、平成25年度へ繰越されたため、実績はなし。</p> <p>【事業をとりまく状況等】 鉄道駅周辺等の放置自転車は、全国的にも社会問題になり、伊勢市においても、宇治山田駅周辺等に自転車等が放置され交通の阻害となっているため、「伊勢市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例」を制定するとともに（施行は、平成26年7月1日）、宇治山田駅周辺の駐輪場の整備を行った。</p>	127
3. コミュニティバス 運行事業	61,090	<p>コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民生活の利便向上を図った。</p> <p>コミュニティバス運行事業 61,090,375円 ・コミュニティバス運行業務 52,669,925円 ・コミュニティバスデマンド運行業務 5,849,570円 ・公共交通総合時刻表印刷 2,072,700円 ・その他の経費 498,180円</p> <p>○利用者数 77,532人 （バス：73,642人、デマンド：3,890人）</p>	127
4. 路線バス運行維持 事業	11,545	<p>廃止路線代替バス、不採算路線バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。</p> <p>廃止路線代替バス（玉城線） 5,747,700円 地方バス路線維持費負担（沼木線） 5,797,000円</p>	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 鉄道施設安全対策 事業	2,372	<p>今後発生が予測される大規模地震（南海トラフ地震等）に備え、住民及び観光客等の交通手段となる鉄道の安全性を向上させるとともに、利用者の安全を確保するため、鉄道事業者が行う耐震対策を国・県・市が一体となって促進し、公共交通の維持・確保を行った。</p> <p>対象工事 近鉄山田線伊勢市・宇治山田間高架橋耐震対策工事（6本）</p> <p>対象事業費 14,230,000円 交付金額 2,371,666円 補助率 国：1/3 県1/6 市1/6</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,800,000円（工事費16,800,000円×1/6）</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 補助対象年度は平成25年度のみであり、過去2ヵ年度の実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 市内の高架橋の補強工事は、今回対象の6本で全て完了した。</p>	127

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税费 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 342,385 千円
決算額 340,440 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	198,810		12,851	128,779

収税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 口座振替事務費	1,998	<p>納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、口座振替納付を行なっている。</p> <p>・口座振替での収納税額 5,140,682,878円</p> <p>・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,723,906円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 80,910円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 192,760円</p>	127

(款)2 総務費

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税费 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 151,620 千円
 決算額 145,746 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,041	144,705

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	81,463	<p>適正・公平な課税を行うため、以下の主要な業務を行い、その経費を支出した。</p> <p>○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 34,755千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み</p> <p>○土地鑑定評価業務委託 30,713千円 平成27年評価替えに向け、不動産鑑定士に標準宅地鑑定評価業務を委託</p> <p>○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,012千円 平成24年評価替え用に決定した鑑定評価額は、平成23年1月1日の価格基準日における評価額のため、地価下落等に伴う変動を反映させ、現状に則した価格とするための時点修正</p> <p>○家屋評価計算業務委託 5,542千円 家屋評価計算及び評価情報等データの総合行政情報システムへの連携</p>	129

収 税 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決 算 書 頁
1. コンビニ収納経費	5,013	<p>納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアでの収納税額 934,672,701円 ・支出経費 <ul style="list-style-type: none"> 収納代行手数料 4,925,134円 電話回線使用料 88,242円 	129
2. 徴収管理一般経費	40,241	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 60件 移管総額 207,336,627円 (H25年度移管事業分) ・収納額実績 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 84,444,033円 31,746,454円 (H24年度移管事案に係る収納額) 52,697,579円 (H25年度移管事案に係る収納額) ・負担金 <ul style="list-style-type: none"> 均等割額 100,000円 処理件数割額 8,400,000円 徴収実績割額 6,667,000円 計 15,167,000円 	129

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予 算 現 額 30,191 千円
決 算 額 29,524 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				29,524

監査委員事務局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決 算 書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	99	<p>公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、随時監査として工事監査を3件実施した。監査の執行にあたっては専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。</p> <p>設計金額10億円未満の工事1件、300万円以上1億円未満の工事2件</p> <p>監査実施工事名 溝口第1排水区溝口第1ポンプ場土木工事 エネルギー棟新築工事 御菌58号線ほか道路改良工事</p>	135

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,320,296 千円
 決算額 1,298,507 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
120,416	352,871		31,193	794,027

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア 育成事業負担金	9,998	<p>ボランティア活動を活性化し、地域の支え合いによるまちづくりを進めるため、伊勢市社会福祉協議会の設置する「伊勢市ボランティアセンター」の活動を支援した。ボランティアセンターでは、ボランティア登録・斡旋、ボランティア養成、活動団体への助成などを実施した。</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 10,183,000円 決算額 9,997,647円 ボランティアコーディネーター 1名 ボランティアセンター登録状況 122団体・3,189人 活動に対する団体等助成 25団体 福祉協力校助成 42校</p> <p>【過去2カ年の実績】 ①平成24年度 決算額 8,821,260円 ボランティアコーディネーター 1名 ボランティアセンター登録状況 114団体・2,890人 活動に対する団体等助成 24団体 福祉協力校助成 39校 ②平成23年度 決算額 8,381,220円 ボランティアコーディネーター 1名 ボランティアセンター登録状況 124団体・3,383人 活動に対する団体等助成 23団体 福祉協力校助成 36校</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 少子化、高齢化、人口減少等が懸念される中、支え合い、助け合いによるまちづくりが求められており、ボランティアの育成、地域の担い手づくり、地域における連携等が地域福祉の課題となっている。</p>	135
2. 民生委員児童委員 活動経費	18,515	<p>各地区民生委員児童委員、主任児童委員が各地域で実施する日常の見守り活動、相談・助言活動、資質向上のための研修活動を支援した。</p> <p>平成25年度は災害時要援護者台帳の登録作業について、65歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者だけの世帯を訪問した。なお、今年度より民生委員・児童委員の活動費の見直しを行った。</p>	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 地域福祉計画策定事業	2,927	<p>第1期計画が5年の計画期間（平成21年度～平成25年度）を終了することから、第2期計画（平成26年度～平成30年度）を策定した。</p> <p>策定にあたっては、伊勢市地域福祉計画策定推進委員会（委員16名）を設置し検討した。また、「伊勢市と皇學館大学との連携に関する協定書（平成20年7月11日）」に基づき同校へ策定業務支援を委託した。住民意識調査（アンケート）発送準備、アンケート回収後のデータ入力作業については、「障害者就労支援施設等からの物品等の調達方針」に基づき、福祉サービス事業所へ委託した。</p> <p>※契約内容 伊勢市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定支援等業務委託 1,803,694円 伊勢市地域福祉計画アンケート用紙印刷及び封入業務委託 112,000円 伊勢市地域福祉計画アンケート回答データ入力作業及びイメージ読み取り作業業務委託 108,088円</p>	135
4. 福祉健康センター施設改修事業	14,800	<p>福祉健康センターは、竣工後26年が経過し、各設備において老朽化が進んでおり、利用者へのサービスの向上と適正な維持管理に努めるため、非常灯バッテリー取替工事を行った。また、利用者の駐車場の快適な利用の確保のため、駐車場舗装工事を行った。</p> <p>（主な概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常灯バッテリー取替工事 3,820,950円 ・伊勢図書館ほか駐車場整備事業 10,931,592円 	137
5. エレベーター防災対策改修事業	12,264	<p>エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。</p> <p>（主な概要）</p> <p>【改修箇所（所管課）】 伊勢市福祉健康センター（福祉総務課）</p>	137
6. ハートプラザみその等管理事業	61,671	<p>指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、建設後20年以上を経過しているため、毎年、設備等のメンテナンスを行うとともに、老朽化による施設の不具合を解消した。</p> <p>【主な施設改修の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール防水改修工事 5,118,750円 ・福祉棟空調設備改修工事 16,839,900円 	137
7. エレベーター防災対策改修事業	14,974	<p>エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。</p> <p>（主な概要）</p> <p>【改修箇所（所管課）】 ハートプラザみその（福祉総務課）</p>	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 社会福祉協議会運営事業負担金	85,000	市民の福祉ニーズに対応できるよう、公的な福祉サービス、制度に加え、伊勢市社会福祉協議会の相談活動、地域のふれあい・支え合い事業を通じ、地域福祉の推進に努めた。	137
9. 権利擁護事業負担金	423	判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に関する福祉サービス利用援助や個人の金銭管理援助について、伊勢市社会福祉協議会内に設置する「伊勢地域権利擁護センター」を通じ実施した。 経費については、伊勢市在住者が同サービス利用の際必要となる分を「権利擁護事業負担金」として伊勢市社会福祉協議会に支出した。 ※過去3年間の実績（延べ利用人数） 平成23年度 延べ56人 306,000円 平成24年度 延べ79人 400,500円 平成25年度 延べ80人 422,500円	137

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	4,587	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	137
2. エレベーター防災対策改修事業	15,604	施設の安全性を重視し、既存不適格となっていたエレベーターの全面取替を行うことにより、建築基準法に合致させた。	137

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	893	地域の高齢者をはじめ住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設である小俣老人福祉会館と小俣商工会、度会教育会館の3施設からなる合同会館の維持管理にあたった。	137
2. 保健福祉会館管理事業	16,633	高齢者をはじめ住民の健康増進・教養の向上およびレクリエーション等の場として小俣町内6カ所に設置した保健福祉会館の維持管理にあたった。	137
3. エレベーター防災対策改修事業	4,462	エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。 (概要) 【改修箇所(所管課)】 伊勢市北部保健福祉会館(小俣総合支所生活福祉課) 施設の不具合を解消した。	137

(款)3 民生費

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 2,153,009 千円
 決算額 2,003,622 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
927,991	440,334	33,000	2,534	599,763

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 障害者地域生活支援事業	103,648	<p>障がいのある人が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域生活支援事業を実施した。</p> <p>【主な事業】</p> <p>1. 障害者総合相談支援センター運営事業 福祉サービス等の利用援助など障がい種別や年齢に関わらない一次相談を行う地域相談支援センター業務と、伊勢市地域自立支援協議会の運営、権利擁護や相談支援専門員の人材育成など地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センター業務を行う伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」の運営を社会福祉法人に委託し、相談支援の充実を図った。 委託先 社会福祉法人三重済美学院 委託金額 25,606,000円</p> <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者(児)等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 2,419件 給付費 26,544,440円</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業 (1) 手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。 窓口対応件数 177件 事業費 4,498,304円</p> <p>(2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 聴覚障がい者等とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等がある人の社会参加の向上を図った。 手話通訳者派遣件数 96件 要約筆記者派遣件数 16件 事業費 737,538円</p> <p>(3) 手話奉仕員養成事業 聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がい者の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座入門課程(全23講座)を開催した。(奉仕員:コミュニケーションがとれるもの) 受講人数 17名 事業費 111,057円</p> <p>(4) 点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。 点字広報発行事業発行人数 13人 声の広報発行事業発行人数 42人 事業費 350,000円</p>	頁 139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 112,079,000円 ・障害者総合相談支援センター運営事業 26,146,000円 ・日常生活用具給付費 27,500,000円 ・身体障害者情報保障事業 手話通訳者設置事業 4,612,000円 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 1,052,000円 手話奉仕員養成講座 198,000円 点字広報・声の広報発行事業 350,000円 ・その他事業・経費 52,221,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 98,967,332円 ・障害者地域生活相談支援事業 17,040,200円 ・日常生活用具給付事業 給付件数 2,282件 給付費 25,530,821円 ・身体障害者情報保障事業 手話通訳設置事業 窓口対応件数 182件 事業費 4,501,699円 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 手話通訳者派遣件数 110件 要約筆記者派遣件数 29件 事業費 775,282円 手話奉仕員養成事業 養成講座基礎課程受講者数 23名 ステップアップ講座受講者数 21名 事業費 209,407円 点字広報・声の広報発行事業 点字広報発行事業発行人数 12人 声の広報発行事業発行人数 42人 事業費 350,000円 平成23年度 77,409,734円 ・障害者地域生活相談支援事業 16,431,600円 ・日常生活用具給付事業 給付件数 2,308件 給付費 25,451,141円 ・身体障害者情報保障事業 手話通訳設置事業 窓口対応件数 200件 事業費 4,441,557円 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 手話通訳者派遣件数 100件 要約筆記者派遣件数 33件 事業費 1,048,785円 手話奉仕員養成事業 養成講座入門課程受講者数 27名 ステップアップ講座受講者数 29名 事業費 173,490円 点字広報・声の広報発行事業 点字広報発行事業発行人数 13人 声の広報発行事業発行人数 48人 事業費 350,000円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 障害者総合支援法の施行により地域生活支援事業の必須事業が拡充されている。</p>	

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 障害者外出支援事業	9,527	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がいのある人に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 13,068枚</p> <p>2. 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 1,474枚</p>	139
3. 障害者福祉運営対策経費	123,303	<p>1. 身体障害者福祉センター運営事業 社会適応訓練（パソコン教室等）等を行う身体障害者デイサービス事業を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 年間利用人数 1,009人（身体障害者デイサービス事業）</p> <p>2. 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業 創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 14.2人</p> <p>3. 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に就労・生産活動の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そみん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 ひまわり 12.1人 工房そみん 12.7人 小俣さくら園 13.5人 御菌しらぎく園 7.6人</p> <p>4. 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 8団体</p>	139
4. 障害者啓発事業	296	<p>12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発、啓発行事、作品展示を実施した。</p>	139
5. 障害者手当等給付事業	65,642	<p>在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。</p>	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. <u>障がい者にやさしいまちづくり事業</u>	7,412	<p>1. 障がい者外出支援対策アドバイザー業務 視覚障がい者及び高齢等による視覚機能低下した方があらゆる活動へ積極的に参加できる機会を増やすため、公共交通機関及び周辺の調査、ルート調査を実施し、調査結果（音声案内）として、CD、カセットテープ、デジタルデータを作成した。 事業費 840,000円</p> <p>2. オストメイト対応トイレ設備整備事業 オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）の方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設にオストメイト対応トイレ設備を整備した。 整備施設 5施設 事業費 6,571,950円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 8,358,000円 ・障がい者外出支援対策アドバイザー業務委託 ・オストメイト対応トイレ設備整備工事費 整備施設 5施設</p> <p>【過去2カ年間の実績】 平成24年度 ・障がい者外出支援対策アドバイザー業務 829,500円 ・オストメイト対応トイレ設備整備事業 5施設 6,927,900円 平成23年度 ・障がい者外出支援対策アドバイザー業務 829,500円 ・オストメイト対応トイレ設備整備事業 5施設 6,090,000円 ・ピクトサイン設置事業 6施設21箇所 488,250円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・伊勢市やさしさプランの障がい者サポートプロジェクトとして平成25年度までの3年間でオストメイトの方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設へオストメイト対応トイレ設備の整備を実施した。</p>	139
7. エレベーター防災対策改修事業	16,318	<p>エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。</p> <p>(改修箇所) 伊勢市重度身体障害者デイサービスセンター</p>	139
8. 障害者介護給付等事業	1,577,344	<p>障害福祉サービス等の利用について、介護給付費等の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。</p>	139

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 845,891 千円
 決算額 823,612 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	337,727			485,885

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 障害者医療費支給事業	246,925	身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 236,360千円 ・延件数 53,894件 2 証明書料の助成 ・助成額 10,565千円 (うち郵送料 652千円) ・延件数 49,562件	141
2. 65歳以上障害者医療費支給事業	177,216	後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 177,216千円 ・延件数 67,261件	141
3. こども医療費支給事業	288,347	小学校卒業前までの乳幼児等で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、中学生の入院にかかる医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 259,845千円 (うち中学生入院分 1,728千円) ・延件数 145,854件 (うち中学生入院分 32件) 2 証明書料の助成 ・助成額 28,502千円 ・延件数 142,508件	141
4. 一人親家庭等医療費支給事業	74,188	母(父)子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 68,450千円 ・延件数 29,439件 2 証明書料の助成 ・助成額 5,738千円 ・延件数 28,690件	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 寡婦医療費支給事業	55	配偶者と死別し、その時に20歳未満の方を扶養していた、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 52千円 ・延件数 12件 2 証明書料の助成 ・助成額 3千円 ・延件数 12件	141

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 47,460 千円
決算額 46,882 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			19,486	27,396

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	20,881	障がいをもつ児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。 発達療育 延べ 731人、感覚運動遊び 延べ1,209人 放課後デイ 延べ 546人、作業療法 延べ 607人 言語療法 延べ 468人、相談 延べ 326人 機能回復訓練延べ 47人	141
2. おおぞら児童園管理事業	3,609	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	141

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,577,922 千円
決算額 3,561,154 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,740	234,028		86,764	3,220,622

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設建設等補助金	43,857	高齢者が可能な限り住み慣れた地域での生活が継続できるよう、伊勢市介護保険事業計画に基づく公的介護施設を整備した社会福祉法人等民間事業者に対して補助を行った。 ・認知症対応型共同生活介護事業所の新設 補助件数 1件 ・認知症対応型共同生活介護事業所の浴室改修 補助件数 1件	145

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. エレベーター防災 対策改修事業	19,793	エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。 (主な概要) 【改修箇所(所管課)】 みなとデイサービスセンター(福祉総務課)	145

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援 通所事業	4,710	在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」と認定された者、又は自立とみなされる閉じこもりがちで虚弱な方々を対象に、デイサービスセンターへの通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	143
2. 外出支援サービス 事業	17,266	65歳以上のねたきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両(リフト付タクシー等)の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。 利用枚数 16,972枚	143
3. 軽度生活援助事業	800	老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での生活の継続を図った。	143
4. 緊急通報体制等整備 事業	5,549	虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障がい者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	143
5. 老人乗合バス運賃 助成事業	21,304	75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券(100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚)(※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び第1種の手帳をお持ちの方の介護者で希望の方は、「50円券×80枚」も選択可)を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして社会参加の促進及び心身の健康の保持増進を図った。 寿バス乗車券 交付者数 9,861人 (内訳) 100円券 8,781人 50円券 175人 乗りきり券 905人	143

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 老人クラブ補助金	11,264	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	143
7. 敬老祝品贈呈事業	1,955	市内に在住する年度末時点で満88歳・100歳・最高齢の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。(最高齢者への贈呈は生涯に1回) 88歳 5,000円相当 686人 100歳 10,000円相当 26人 最高齢 15,000円相当 1人	145
8. 救急医療情報キット配備事業	183	一人暮らし高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。 配布件数(平成26年3月31日時点) 3,067件	145
9. 老人ホーム入所措置事業	242,556	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,432人	145
10. 地域支え合い体制づくり事業	4,237	1.平成25年度新規分 社会福祉法人や住民組織等による、先進的・パイロット的事業の立ち上げや、見守り活動チーム等の人材育成等を支援する事業に補助金を交付し、高齢者や障がい者等に対する地域における日常的な支え合い活動の体制づくりを図った。 ・南本町生きがい活動支援整備事業 970,000円 ・伊勢市中心市街地サポートセンター事業 636,460円 ・在宅支援サポート連携事業 664,314円 2.継続支援分 過年度に、地域支え合い体制づくり事業を利用して新規に立ち上げた事業について継続を支援し、活動の定着と強化を図った。 ・買物支援事業「厚生お助け隊」 1,000,000円 ・一色町「食」支援の会高齢者支援事業 966,514円	147

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営事業	1,776	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会において計画する事業の実施及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	145

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 489,488 千円
 決算額 434,300 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
665	101,616		1,344	330,675

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減するために、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	147
2. 病児・病後児保育事業	13,569	<p>児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 延べ利用人数 971人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 13,569千円 児童が病気あるいは病気回復期で集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで保育する。</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 延べ利用人数 752人 平成23年度 延べ利用人数 1,141人</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 核家族化や女性の社会進出による共働き家庭の増加により、児童の保育施設の需要が高まっている。</p>	147
3. ファミリーサポートセンター事業	8,117	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 423人 活動件数 1,997件	147
4. 次世代育成支援対策事業	3,382	次世代育成支援行動計画の進行管理を行うとともに、子ども・子育て支援新制度の施行(H27.4予定)に向けて、伊勢市子ども・子育て会議の設置及びニーズ調査を行った。 調査対象者 未就学児及び就学児の保護者 各1,500人	147
5. 放課後児童対策事業	135,466	昼間、保護者のいない家庭の児童(主に小学校低学年児)を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 22箇所	147
6. 一般保育事業補助金	47,297	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 16箇所	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 低年齢児保育推進 事業補助金	1,884	0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、 児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保 育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員 もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上入所して いる保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費 を補助した。 民間保育所 8箇所	147
8. 延長保育促進事業 補助金	56,798	通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実 施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を 図るために要する経費を補助した。 民間保育所 17箇所 うち国庫補助対象（11時間以上）6箇所	147
9. 地域活動事業補助 金	4,454	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促 進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にか かる経費を補助した。 民間保育所 18箇所	147
10. 障害児保育事業補 助金	15,182	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がい をもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超える保育 士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を 補助した。 民間保育所 9箇所 対象児童（中度）14人 （重度）4人	147
11. 休日保育事業補助 金	1,337	日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事 業経費を補助した。 民間保育所 1箇所	149
12. 民間保育所施設整 備事業費補助金	9,782	保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、民間保育 所が行う太陽光発電施設設置工事の施行に対し補助金を交 付した。 民間保育所 1箇所	149
13. 一時保育事業補助 金	530	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等 のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を 行う保育所に対し、その経費を補助した。 民間保育所 1箇所	149
14. アレルギー等対応 特別給食提供事業 補助金	5,361	食物アレルギー等があり保育所における給食に特別な配 慮が必要な児童への安全な給食提供のため、民間保育所 における調理員の加配、代替食材、研修等にかかる費用を 補助した。 民間保育所 12箇所	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
15. 子ども家庭支援 ネットワーク事業	239	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な支援のため、関係機関との連携を図り児童虐待の防止に努めた。	149
16. <u>子ども家庭相談セ ンター事業</u>	10,372	<p>保健師及び社会福祉士、家庭児童相談員、女性相談員、発達支援相談員、臨床心理士（非常勤）を配置し、子育てや児童虐待、DV（配偶者等による暴力）や女性に関する相談を受け付け、助言指導等を行った。</p> <p>また、発達支援相談員による保育所及び幼稚園への巡回訪問等を行い、発達障がい児の早期発見や適切な支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談 : 延べ 959件（235人、うち新規179人） ・女性相談 : 延べ 683件（143人、うち新規 88人） ・発達支援相談 : 延べ 571件（240人、うち新規144人） <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,146千円 主な経費内訳 家庭児童相談員 : 2人 4,633千円 女性相談員 : 1人 2,244千円 発達支援相談員 : 1人 2,257千円 臨床心理士 : 1人 1,457千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 ・児童相談 : 延べ1041件（226人、うち新規109人） ・女性相談 : 延べ 520件（95人、うち新規 58人） ・発達支援相談 : 延べ 420件（205人、うち新規205人） 平成23年度 ・児童相談 : 延べ 867件（180人、うち新規 76人） ・女性相談 : 延べ 423件（78人、うち新規 52人）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 全国的に児童虐待相談件数が過去最高を更新する中で、児童虐待又は要保護児童等（保護又は支援が必要な児童）の相談件数の増加が見込まれる。 児童虐待、DV、発達障がいに対する社会的関心が、高まる中で、相談支援体制の充実が求められている。</p>	149

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,297,705 千円
 決算額 3,273,733 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,768,684	524,345		292,171	688,533

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置事業	3,896	児童の福祉に欠ける世帯の母子を支援施設に入所措置することで、家庭生活の安定保護を図るとともに、自立への支援を行った。また、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置した。 支援施設利用件数 2件 助産施設利用件数 2件	149
2. 児童手当支給事業	1,996,160	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し児童手当を支給した。 受給者数 9,249人 対象児童延べ人数 182,364人	149

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 579,573 千円
 決算額 576,181 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
203,918				372,263

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高等技能訓練促進費等事業	21,127	ひとり親家庭の自立の促進を図るために、看護師等の資格養成機関で修業する一人親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るための補助金を支給した。 高等技能訓練促進費 18人 入学支援修了一時金 9人	149
2. 児童扶養手当支給事業	552,331	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者数 1,423人	149

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,502,966 千円
 決算額 1,478,078 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,126	18,777		295,176	1,162,999

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 臨時保育士等経費	382,629	市立保育所に嘱託保育士等を配置した。 ・嘱託保育士 96人 ・嘱託看護師 14人 ・嘱託調理員 16人 ・嘱託業務員 15人 ・臨時保育士 44人 ・臨時調理員 7人 ・文書集配職員 1人	151
2. 低年齢児保育推進事業	6,901	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 3箇所	151
3. 保育所地域活動事業	2,075	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 11箇所	151
4. 地域子育て支援センター事業	52,539	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、小俣子育て支援センター明倫保育所、二見浦保育園、しごうこども園	151
5. 障害児保育事業	57,280	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 市立保育所 14箇所 対象児童 (中度) 28人 (重度) 14人	151
6. 延長保育促進事業	8,574	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所 (大世古保育所、保育所きらら館)	151
7. 休日保育事業	3,172	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所 (保育所きらら館)	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 一時保育事業	14,322	<p>保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。</p> <p>保育所きらら館、小俣子育て支援センター しごうこども園 延べ利用児童数 1日利用 1,721人 半日利用 789人</p>	151
9. 市立保育所施設整備事業	14,402	<p>保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。</p> <p>五峰保育園保育室空調機取替工事 大世古保育所トイレ改修工事 浜郷保育所砂場改修工事 きらら館ウッドデッキ改修工事 明倫保育所2階床張替改修工事 御菌第二保育園ベランダ及び避難路塗装改修工事 ゆりかご園防球ネット張替工事 あけぼの園給湯設備改修工事 しらとり園下水道接続工事 しらとり園フェンス基礎修繕工事</p>	151
10. エレベーター防災対策改修事業	1,401	<p>公立保育所（保育所きらら館）に設置のエレベーターについて、建築基準法施行令が改正されたことにより、基準に適合するようエレベーターの改修を行った。</p>	151
11. 市立認定こども園運営経費	53,702	<p>認定こども園において就学前児童の教育・保育を行った。</p> <p>市立認定こども園 1箇所（しごうこども園） 延べ利用児童数 1,177人</p>	151
12. 市立認定こども園維持管理経費	4,144	<p>認定こども園の施設を維持管理し、入園児童の安全かつ快適な保育環境を維持した。</p> <p>市立認定こども園 1箇所（しごうこども園）</p>	151

(款) 3. 民生費 (項) 4. 生活保護費 (目) 2. 扶助費

(単位 千円)

予算現額 2,284,252 千円

決算額 2,199,636 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,626,190	70,101			503,345

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種扶助事業	2,199,636	<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。</p> <p>平成25年度実績 被保護世帯数 995世帯 被保護人員 1,274人 被保護率 10.0‰</p> <p>種別 円 生活扶助 614,077,602 住宅扶助 239,741,959 教育扶助 8,615,197 介護扶助 80,531,620 医療扶助 1,217,796,505 生業扶助 5,189,676 葬祭扶助 3,495,475 保護施設事務費 30,187,992 合計 2,199,636,026</p> <p>平成24年度実績 被保護世帯数 1,009世帯 被保護人員 1,301人 被保護率 10.1‰</p> <p>種別 円 生活扶助 637,010,301 住宅扶助 238,250,128 教育扶助 9,029,497 介護扶助 61,367,174 医療扶助 1,267,597,646 生業扶助 5,551,410 葬祭扶助 2,365,937 保護施設事務費 29,269,712 合計 2,250,441,805</p>	153

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 68,644 千円
 決算額 65,940 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,627			43,313

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	940	伊勢市人権施策推進協議会と協力して、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集及び市民を対象とした人権尊重啓発標語募集、人権セミナーの開催などの各種事業の展開により人権意識の高揚に努めた。	155
2. 市民館講座開催事業	78	人権問題に関する理解と認識を深めるため、成人学習講座をはじめとする各種講座を開催し、市民に学習の場と機会を提供した。	155

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

(単位 千円)

予算現額 3,168 千円
 決算額 2,867 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	354			2,513

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権啓発推進事業	325	人権啓発パンフレット・啓発物品を作成し、「差別をなくす強調月間」及び「人権週間」を中心に、企業訪問、街頭啓発などで配布した。設置場所と啓発場所を増やしたことで多くの住民等の人権意識への関心を高めることができた。	155
2. 非核平和推進事業	575	非核・平和第35回空襲展を実施し戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えていくことができた。 日本非核宣言自治体協議会からの情報提供や平和首長会議からのポスターを活用したミニ原爆被災展を実施、折鶴コーナーも設け広く住民へ非核・平和の周知を行った。	155
3. 講演会開催事業	1,032	7月の「人権を考える市民の集い」では、講師に蓮池透さんを迎え、北朝鮮の人権侵害の実態を、12月の「伊勢市人権講演会」では、香山リカさんを迎え、今どきの子どもや若者との接し方を教えていただいた。	155
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	751	市内22の各協議会にて、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。3月には今後の取組の充実を図るため、全協議会参加による交流会を開催した。	155
5. 人権啓発講座開催事業	184	小中PTA会員と一般からの会員募集をし、4回講座を持ち、講師による講演後、グループ討議を行った。回ごとにテーマと講師を変え、人権問題を広く学習することができた。延べ121名の参加があった。	155

(款)3 民生費

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 840,197 千円
 決算額 705,548 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
49,016	43,850	150,900	8,296	453,486

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	34,152	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 480千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 27,805千円(実績割100%) 建設経費 5,867千円(平等割10%人口割90%)	157
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	191,287	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,599千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 150,466千円(実績割100%) 建設経費 24,705千円(平等割10%人口割90%) 公債費 13,517千円(元利補給金)	157
3. 生活排水対策啓発事業	265	伊勢市環境会議にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：勢田川七夕大そうじ、水生生物による水質調査、エコクッキング教室など	157
4. 狂犬病予防事業	1,113	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 449頭 狂犬病予防注射接種件数 5,587頭	157
5. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	157,296	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 435基 153,462千円 公共下水道認可区域内 31基 3,834千円	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. <u>共同汚水処理施設 修繕工事補助金</u>	2,939	<p>共同汚水処理施設の適正な維持管理を図るため、住民で組織する団体が管理し、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上のものに限る）を実施した管理団体に対し補助を行った。</p> <p>補助件数：3件 補助金額：2,939,300円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,600千円 補助件数 8件 補助対象団体 8団体</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 新規事業のため実績なし。</p> <p>【当初予算時と事業実施との差異の理由】 当初補助件数を8件と見込んでいたが、補助申請が3件であったため補助金の執行が不必要となった。</p>	157
7. 太陽光発電普及促進事業	18,299	<p>新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、太陽光発電システム設備設置者に対し補助金1件あたり60千円を交付した。</p> <p>平成25年度 14,699千円 ・補助金 60千円×244件 ・郵便料 59千円</p> <p>平成24年度からの繰越 3,600千円 ・補助金 60千円×60件</p>	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>8. <u>エコドライブ普及 推進事業</u></p>	<p>7,358</p>	<p>平成24年12月に策定した「伊勢市地球温暖化防止実行計画」に基づき、公用車として電気自動車の購入、及び、エコドライブ講習会を実施した。</p> <p>○電気自動車購入 7,132千円 <内訳> 電気自動車購入費用 6,861千円(2台) 普通充電器設置費用 271千円(2基) ※電気自動車の購入については、国の補助金を活用した。 クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金 1,700千円(2台分)</p> <p>○エコドライブ講習会開催費用 226千円 市民向け・職員向け各2回実施 <参加者数> 市民向け 18人 職員向け 30人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,364千円 電気自動車2台購入 6,766千円 普通充電器2基設置 300千円 エコドライブ講習会開催費用 298千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 ○電気自動車の購入 平成25年度新規事業</p> <p>○エコドライブ講習会(平成24年度、平成23年度は、衛生一般経費にて計上) ・平成24年度 市民向け・市職員向け各2回実施 <参加者数> 市民向け 15人 職員向け 30人 ・平成23年度 市民向け2回実施 <参加者数> 24人</p> <p>【事業を取りまく状況等】 県のモデル事業として、行政・大学・団体・民間事業者等により設立された「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」が平成25年3月に策定した行動計画「おかげさまAction!」に基づき交通分野での温室効果ガスの削減に取り組んでいる。</p>	<p>157</p>
<p>9. エネルギー教育促進事業</p>	<p>695</p>	<p>市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を1校あたり上限2万円で支援した。</p>	<p>157</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. EVバス導入支援 事業	12,500	交通分野における温室効果ガス削減の啓発及び「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」が平成25年3月に策定した行動計画「おかげさまAction!」の各種取組みを促進するため、三重交通株式会社による行動計画に基づく電気バス1台の導入に対し補助金を交付した。 電気バスには、注目度・啓発効果の向上を目的に、株式会社ポケモンの協力を得て「ポケットモンスター（ポケモン）」で人気の「ピカチュウ」（でんきタイプのポケモン）のラッピングを施した。 【導入概要】 ・補助率：国（1/2）、県（1/8）、市（1/8） ・出発式及び試乗会：平成26年3月30日 ・通常運行開始：平成26年3月31日 ・運行路線：外宮内宮線 ・運行回数：4往復/日	157
11. 犬猫不妊手術費等 補助金	2,017	犬猫の適正飼育を図るため、不妊手術費の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬165頭 猫465頭	159
12. 環境フェア等開催 事業	329	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市の取組への理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。 開催日 平成25年10月13日（日） 開催場所 三重県営サンアリーナ 主催 伊勢市環境会議、伊勢市	159

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	11,417	地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。毎月6回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成25年度利用者数 38,945人	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 1,058,831 千円
 決算額 1,054,565 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,802	6,685	9,300	23,474	979,304

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業会計繰出金	798,424	病院事業に対して、繰出基準に基づく繰出しのほか、資金不足改善及びエレベーター防災改修工事のため、繰出しを行なった。 ・通常分 624,007千円 ・資金不足改善分 111,417千円 ・エレベーター防災改修分 63,000千円	161
2. 病院事業出資金	9,300	新病院建設事業費のうち1/4相当額を出資金として支出した。(合併特例債を100%充当) 【事業費内訳】 敷地造成に伴う測量 5,778千円 敷地造成に伴う地質調査 19,663千円 敷地造成基本設計 11,946千円	161

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康・医療電話相談事業	9,398	市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスを委託し実施した。7,598件の相談があった。	159
2. 一次救急医療事業	4,091	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい知識と理解を深めてもらうよう周知に努めた。	159
3. 病院群輪番制病院運営費補助金	34,525	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成25年度は19,144人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 健康文化都市推進事業	1,647	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業や、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとして、低カロリー・バランス食のレシピ集の発行やウォーキングマップの発行、講座等を実施した。	159
5. 食生活改善推進事業	805	健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。	159
6. 連携リハビリテーション医学講座設置事業	20,000	市と藤田保健衛生大学で協定を締結し、地域医療（主に回復期リハビリテーション）の充実を目的とした寄附講座を開設した。 講座開設にあたり、市立伊勢総合病院へ医師が派遣され、スタッフへの指導、教育を含めリハビリテーション環境の充実が図られた。	161

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. エレベーター防災対策改修事業	4,302	エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適合となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。 (主な概要) 【改修箇所(所管課)】 小俣保健センター(福祉総務課)	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 341,201 千円
 決算額 290,033 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,559		1,752	283,722

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	282,356	<p>全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。</p> <p>法改正により、平成25年4月1日から、定期予防接種となった子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種について、予防接種事業として実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 142,579,000円 ・子宮頸がん予防ワクチン 延べ2,104人 ・ヒブワクチン 延べ4,531人 ・小児用肺炎球菌ワクチン 延べ6,084人</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 117,494,444円 ・子宮頸がん予防ワクチン 延べ1,664人 ・ヒブワクチン 延べ4,422人 ・小児用肺炎球菌ワクチン 延べ4,586人</p> <p>平成23年度 146,753,318円 ・子宮頸がん予防ワクチン 延べ3,256人 ・ヒブワクチン 延べ4,248人 ・小児用肺炎球菌ワクチン 延べ5,053人</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・子宮頸がんを予防するため、平成22年8月から市単独事業として子宮頸がん予防ワクチン接種者に助成を開始した。平成23年2月からは、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業が開始され、3ワクチン接種について委託事業として実施した。予防接種法の改正により、平成25年4月1日から定期接種化され、予防接種事業として実施した。 なお、子宮頸がん予防ワクチンについては、平成25年6月14日付、厚生労働省の勧告により、一時的に積極的な勧奨を見合わせた。</p>	161
2. 肺炎球菌予防接種 助成事業	5,932	<p>肺炎の予防及び重症化を防止するため、任意予防接種である肺炎球菌ワクチンを接種した方(65歳以上)に対し、接種費用の助成を行った。</p>	161
3. 風しんワクチン接 種緊急助成事業	1,746	<p>流行している風しんの拡大防止と、先天性風しん症候群の発生を予防するため、妊娠を予定・希望している女性、妊婦の夫及び妊婦の同居家族に対し、ワクチン接種費用の一部助成を行った。</p>	161

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 274,564 千円
 決算額 256,770 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,397	9,325		1,690	239,358

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	10,055	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査及び、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	161
2. がん検診事業	239,168	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	161
3. 歯周疾患検診事業	6,162	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,287人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	161
4. 成人健康相談事業	865	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ107回、516人の相談を行った。	161
5. 訪問指導事業	92	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族254人に対し、生活習慣病の予防や介護予防に関するアドバイスや、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	161

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 151,008 千円
 決算額 137,341 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,342	4,603		1,239	129,157

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	510	妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。950人の参加があった。	161
2. 発達支援教室事業	2,226	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。710人の参加があった。	161
3. 幼児歯科保健事業	2,943	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 877人 ・3歳児フッ化物塗布12回 699人	163
4. 子育て相談事業	726	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ3,986人の相談に対応した。	163
5. 新生児等訪問指導事業	3,342	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児981人、乳幼児700人、妊産婦1,019人、育児支援99人の訪問を実施した。	163
6. 妊婦・乳児健康診査事業	102,997	妊娠中に14回及び乳児期に2回(4か月、10か月)計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ11,995(県外助成を含む)人、乳児は延べ1,821人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	163
7. 1歳6か月児健康診査事業	2,735	身体発育、精神発達の面で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、1,014人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	163
8. 3歳児健康診査事業	4,179	身体発育及び精神発達の面で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、1,070人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	163

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 妊婦歯科健康診査事業	889	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てが開始できるよう、市内及び度会郡内の実施歯科医院で、328人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	163
10. 母子健康手帳交付事業	364	妊娠の届出を行った999人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	163
11. <u>不妊不育治療費助成事業</u>	11,938	<p>医師が必要と認めた不妊不育治療を受けた夫婦に対し、不妊不育治療費に要する費用の一部助成（費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで）を行った。 不妊治療183件、不育治療1件に助成を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,010,000円 不妊治療助成 160件 不育治療助成 10件</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成24年度 10,102,500円 不妊治療助成 162件 平成23年度 9,855,300円 不妊治療助成 156件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・特定不妊治療の国の助成事業は、平成26年度から、妊娠出産に伴うリスクが相対的に少なく、治療により出産に至る確立がより高い年齢での治療となり、助成対象者の年齢と助成回数が見直された。 市においては現行どおり、一般不妊治療も含めて幅広い対象者に実施している。 ・平成23年度から不妊治療費助成事業の対象条件から所得制限を撤廃した。 ・不育症治療は検査や治療の多くが保険対象外となっているため、平成25年度から対象治療に不育治療費も追加し実施している。 ・助成対象者は、年々増加傾向である。</p>	163
12. 未熟児養育医療事業	4,492	入院養育が必要な未熟児16人に対して、医療の給付に要する経費を補助することにより、経済的負担の軽減と未熟児の健康の保持増進を図った。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 9,629 千円
 決算額 9,419 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,776	5,643

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 共同墓地整備事業補助金	5,431	共同墓地内の環境整備を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 補助金交付件数 21件	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 111,269 千円
 決算額 96,256 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			92,875	3,381

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 内科診療所運営事業	89,449	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	163
2. 歯科診療所運営事業	6,807	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 3,317 千円
 決算額 3,286 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,286

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	3,286	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、現状の把握に努めた。	165

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 956,847 千円
 決算額 954,406 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,046	953,360

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	887,178	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 共通経費 6,440千円 (平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 372,773千円(実績割100%) 建設経費 312,314千円 (平等割10%人口割90%) 公債費 193,090千円(元利補給金) 清掃事業所分担金 2,560.8千円	頁 165
2. 廃棄物集積所設置補助金	5,967	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数 のべ53団体 ○補助金交付基数 76基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	165
3. 不法投棄防止対策推進事業	1,024	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 不法投棄物：テレビ141台、冷蔵庫36台、洗濯機22台 エアコン7台、タイヤ159本 他	165

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 67,057 千円
 決算額 62,079 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			50,792	11,287

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 指定袋制度運営事業	48,020	ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。 ○目的 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 ○指定袋種類 3種類 (大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ) ○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】半透明 ○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成26年3月31日現在、販売店登録数301店舗) ○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋75円、中袋54円、小袋37円(税別)	165
2. 再生資源回収推進事業	8,859	自治会、PTA等資源物の集団回収事業を行う団体に対して、回収量に応じ再生資源回収事業奨励金を交付することにより、ごみの減量・資源化を図った。 ・交付団体数 157団体 ・回収量 2,948t (内訳) 紙類2,826t、布類53t、缶類69t ・同(瓶) 4,680本 ※1kg当たり3円の奨励金 瓶については、1本当たり3円の奨励金	165
3. ごみ減量化容器設置補助金	1,405	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○交付申請件数 93件 ○補助金交付基数 111基 ○補助率 購入額の1/2(限度額30千円)	167

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 663,461 千円
 決算額 657,472 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			23,532	633,940

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	220,576	<p>ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。</p> <p>○市内ステーション設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ステーション 997箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 <p>(内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御菌</p>	167
2. じん芥収集車購入事業	11,681	<p>耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。</p> <p>○購入車両</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 tパッカー 2台 <p>○収集車両台数 計39台</p>	167
3. じん芥収集一般事業	29,019	<p>ごみ収集業務のほか、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。</p> <p>また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊勢年間搬入量 1,137,954kg ○小俣年間搬入量 62,225kg 	167

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 73,767 千円
 決算額 71,667 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,590	61,077

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援 事業	3,987	いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年求職者・無業者を対象に個別ケースにあわせた支援を実施し、早期就職の実現を図った。 ・臨床心理士等を配した面談による心理カウンセリング ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム ・講演会 ・セミナー・講座 ・就労体験 ・市内事業所見学会 ・ネットワーク会議 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,988,000円 ・若者就職総合支援業務委託 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 2,996,196円 ・若者就職総合支援業務委託 平成23年度 1,521,870円 ・臨床心理士配置等業務委託 1,222,830円 ・就職個別相談業務委託 299,040円 【事業を取りまく状況等】 若年求職者・無業者の就労支援・職業的自立を図る上での課題は多岐にわたるため、個別ケースにあわせた支援を実施し、早期就職を図った。 また、近隣市町の関係機関等との緊密な連携を図るべく、「ネットワーク会議」を開催した。	167
2. 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	167
3. 勤労者ふれあい事業	1,500	一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバルを10月13日に県営サンアリーナを会場に開催した。市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約20,000人が参加し、ゆとりと豊かさを実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	167
4. 高齢者労働能力活用事業費補助金	20,743	高齢化社会が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	169

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. サンライフ管理運営事業	7,161	勤労者の健康増進、体力及び教養文化の向上を図るため、会議室、体育室等の貸室、維持管理を行った。また、趣味づくり、健康づくり講座を開催した。平成18年9月より指定管理者による運営となっている。	169
6. 労働福祉会館管理運営事業	5,883	労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。	169
7. 労働福祉会館整備事業	2,085	施設整備工事を行い、施設環境の向上を図った。 ・労働福祉会館外構工事 ・労働福祉会館銘板設置工事 ・労働福祉会館給水切替工事	169
8. 勤労者持家促進資金貸付金	2,340	東海労働金庫と協調し、市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入時に、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。	169
9. やすらぎ公園プール管理運営事業	11,325	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。	169

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 2. 緊急地域雇用対策事業費

(単位 千円)

予算現額 52,798 千円
決算額 49,864 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	49,554			310

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇用対策事業	21,481	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、4事業を実施した。 ①教育用コンピュータ機器台帳作成事業 ②学校図書館・教材備品台帳等整備事業 ③歴史的資料等整理事業 ④コミュニケーション支援事業 【新規雇用創出のべ人数：27名】	169
2. 治安・防災関連雇用対策事業	7,293	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、2事業を実施した。 ①道路占用物件調査事業 ②生活環境被害対策サポート事業 【新規雇用創出のべ人数：9名】	169

(款)5 労働費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 農林漁業関連雇用 対策事業	1,035	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を 創出・提供する事業として、1事業を実施した。 ①獣害対策強化事業 【新規雇用創出のべ人数：1名】	169
4. 観光関連雇用対策 事業	5,818	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を 創出・提供する事業として、2事業を実施した。 ①市内周遊案内事業 ②観光客受入体制整備事業 【新規雇用創出のべ人数：7名】	169
5. 産業振興関連雇用 対策事業	10,924	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を 創出・提供する事業として、1事業を実施した。 ①起業家総合支援事業 【新規雇用創出のべ人数：6名】	169
6. 情報通信関連雇用 対策事業	3,313	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を 創出・提供する事業として、2事業を実施した。 ①収納確保対策事業 ②公共施設情報整理事業 【新規雇用創出のべ人数：5名】	169

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 252,698 千円
 決算額 239,220 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12		2	239,206

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	33,803	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 21,627 千円
 決算額 19,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,377			5,440

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業近代化資金等利子補給補助金	747	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	171
2. 新規就農者総合支援事業	8,250	<p>経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,500,000 円 内訳：青年就農給付金（経営開始型） 1,500,000円×平成25年度対象者5名</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 2,250,000 円 （平成24年度からの新規事業） 内訳：750,000円（後半期分）×平成24年度対象者3名</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・後半期より対象者が1名増えた為、750,000円（半期分）の増となった。 ・就農初期の経営状態は不安定な場合が多く、今後も青年就農者への支援を継続していく必要がある。</p>	171
3. 農業振興補助金	2,961	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 戸別所得補償制度推進事業	6,485	農業作物の販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。	171
5. 6次産業化推進事業	108	6次産業化という新しい農林水産業経営の考え方を地域の農林漁業者等に周知・定着を図り、経営向上に向けた6次産業化への機運の醸成を図った。	171
6. 地産地消推進事業	323	市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。	171
7. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	173
8. 農業体験学習事業	546	食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 40,482 千円
決算額 37,795 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	100		1,398	36,297

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	6,197	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 357日 ・来客人数 131,837人	173
2. 伊勢市都市農山村交流促進施設維持管理経費	2,495	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 265日 ・来客人数 11,904人	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 農地・水保全管理 支払交付金事業	14,019	○農業の持つ多面的機能の適正な発揮のため、農業者・非農業者の地域ぐるみでの保全向上活動を促進し、国・県と共に支援を行った。 活動実施組織 21組織 ○農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、老朽化が進む農業用排水路、農道などの補修・更新等に対して支援を行った。 活動実施組織 7組織	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,391 千円
決算額 3,391 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,391

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 畜産振興事業	3,391	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 3,001,891 千円
決算額 2,732,694 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
113,848	11,746	1,533,000	22,606	1,051,494

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助金	49,172	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・16件	173
2. 県営ため池整備事業負担金	30,176	県営ため池等整備事業負担金 ○戸部神地区 事業内容 仮設工、本體工等 一式 事業期間 平成20年度～平成25年度 事業費 69,000千円 負担区分 国55% 県30% 市15% →伊勢市負担額 10,350,000円 H24繰越19,825,600円	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 県営かんがい排水 事業負担金	53,695	<p>県営かんがい排水事業負担金</p> <p>○宮川4工区 事業内容 水管橋設置工、推進工 一式 事業期間 平成18年度～平成27年度 事業費 499,000千円 負担区分 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10% →伊勢市負担額 74,850,000円 →うち現年21,750,000円繰越53,100,000円 H24繰越 23,400,000円</p> <p>○宮川4工区その2 事業内容 水管理システム 一式 事業期間 平成19年度～平成25年度 事業費 15,000千円 負担区分 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市99.938% →伊勢市負担額 2,248,605円 H24繰越6,296,094円</p>	173
4. 経営体育成基盤整 備事業負担金	18,714	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金</p> <p>○有田地区 事業内容 幹線用水施設工 一式 支線用水路L=1,549m 事業期間 平成17年度～平成25年度 事業費 390,000千円 負担区分 ・幹線(95,467,000円) 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5% →受益面積割 伊勢市13.5% ・支線(左岸77,378,000円) 国55% 県27.5% 市町3.5% 地元14% →受益面積割 伊勢市1.2% ・支線(小俣217,155,000円) 国55% 県27.5% 市3.5% 地元14% →伊勢市負担額 8,921,728円 調整後8,188,095円 →うち現年6,238,911円 繰越1,949,184円</p> <p>○小俣地区 事業内容 支線用水路L=10,800m 事業期間 平成21年度～平成30年度 事業費 370,000千円 負担区分 ・幹線(3,204,000円) 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% ・支線(359,960,000円) 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣改14.35% ・農道(6,836,000円) 国55% 県27.5% 市17.5% →伊勢市負担額 12,855,440円 →うち現年4,933,120円 繰越7,922,320円 H24繰越 7,542,256円</p>	173
5. 県営ふるさと農道 整備事業負担金	2,210	<p>県営ふるさと農道整備事業負担金</p> <p>○二見町松下地区(H24年度繰越分) 事業内容 舗装工等 一式 事業期間 平成10年度～平成24年度 事業費 36,317千円 負担区分 県65% 市35% →伊勢市負担額 12,710,000円 →うちH24年度 10,500,000円 繰越 2,210,000円</p>	175

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 国営宮川用水二期 事業負担金	2,324,298	<p>国営宮川用水第二期土地改良事業負担金 事業内容 粟生頭首工取水量の増量 斎宮調整池新設 導水路改修 L=15.4km 新導水路暗渠化 L=3.4km 幹線水路パイプライン化 L=23.8km 排水操作等の遠隔化</p> <p>事業期間 平成5年度～平成24年度 全体事業費 48,206,345,583円 負担区分 国20/30 県7/30 市町3/30 →受益面積割 伊勢市48.2% →伊勢市負担額 2,324,298,081円</p>	175
7. 農道整備事業	33,334	<p>農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東大淀町地内 農道整備（その1）工事 ほか7件 ・田尻町地内 農道整備工事に伴う測量業務委託 ほか5件 	175
8. 農業用排水路整備 事業	17,485	<p>農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東大淀町地内 農業用排水路（その1）工事 ほか3件 ・鹿海町地内 農業用排水路工事に伴う測量業務委託 ほか3件 	175
9. 給水栓整備事業	5,280	<p>当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西豊浜町地内 給水栓設置 69箇所 	175
10. 農村振興整備事業	186,584	<p>農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一之木4丁目地内ほか 環保3-1号工事 ほか7件 	175
11. 基幹土地改良施設 防災機能拡充保全 事業	11,746	<p>市内にあるため池について、堤体の諸元や老朽度等の基礎情報を点検し、ハザードマップの作成及び耐震点検のための地質調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池一斉点検業務委託 ・ため池ハザードマップ作成業務委託 ・ため池耐震点検地質調査業務委託（その1）ほか2件 	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 89,956 千円
 決算額 87,328 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,647	119		22,549	44,013

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	47,772	<p>排水機場の定期的な除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とする。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分 土地改良施設維持管理適正化事業 事業費の90%が交付金対象 (国：30%、県：30%、市：30%) 90%のうち市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。</p> <p>汁谷川排水機場 3号ポンプ用エンジン整備等 一式 2号ポンプ分解整備等 一式</p> <p>②平成24年度から一部繰越 優良農地確保・有効利用対策事業 農業体質強化基盤整備促進事業を活用。 事業費の55%が補助対象(国：55%) 村松排水機場 除塵機更新 一式 【農林水産課へ執行委任】</p>	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 32,660 千円
 決算額 28,883 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,660		889	20,334

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 森林病虫害防除事業	6,005	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布6.3ha 伐倒破砕31.7m3 樹幹注入170本	頁 177
2. 獣害防止事業	7,037	○増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。 また、伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。 ○集落への野生鳥獣の出現の減少を図るため、公益的機能が適正に発揮され、下草等の植生が豊かで野生鳥獣の生息しやすい森林づくりのため、更新伐を行った。 更新伐 15.0ha (平成24年度から一部繰越) 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 5,150,000円 ○獣害防止事業業務委託 1,600,000円 ○鳥獣被害防止対策協議会事業負担金 2,000,000円 ○地域ぐるみの獣害対策活動助成金 1,500,000円 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 2,151,000円 ○獣害防止事業業務委託 1,151,000円 ○鳥獣被害防止対策協議会事業負担金 1,000,000円 平成23年度 1,336,000円 ○獣害防止事業業務委託 776,000円 ○鳥獣被害防止対策協議会事業負担金 560,000円 【事業を取りまく状況等】 ・近年の鳥獣による被害は、農作物被害のみならず、生活環境への被害が深刻化している。特に、ニホンザルやイノシシの一部については人慣れが進んでおり、市民や観光客への危害も懸念される。 ・猟友会員の高齢化等に伴う捕獲従事者の減少。 ・国、県の補助事業を有効に活用し、市の関係部署及び関係機関とが連携し対応していく必要がある。	177
3. 森林環境創造事業	977	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は4.24ha実施した。	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 5,252 千円
 決算額 4,738 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	50			4,688

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 魚礁効果調査事業	1,103	昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁と、平成14年から平成22年までの間に覆砂したアサリ漁場について、潜水等調査により、魚礁の設置状況や魚類等の集状況、覆砂漁場の現況を把握し、適切な施設の維持管理及び設置等効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。	177
2. 種苗放流事業補助金	3,277	伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施するアサリ、クルマエビ、アユ等の種苗放流事業に対して支援し、資源の増大・確保と漁家経営の安定を図った。	177
3. 水産教室実施事業	110	市立早修小学校5年生(14名)、市立今一色小学校4～5年生(27名)、市立佐八小学校5年生(20人)に対し、漁業に関する講習、体験実習、施設見学を実施し、将来就く職業の一つとして考えてもらうよう、漁業の啓発を図った。	177
4. 干潟保全活動支援事業	89	地区漁業者が中心となる活動組織(伊勢干潟保全会・村松浅場保全会)が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	179
5. 漁業近代化資金利子補給補助金	159	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給し、復旧に必要な資金の借りに円滑化と漁業経営の再生を図った。	179

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 72,834 千円
 決算額 40,778 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,135	15,000	1,815	7,828

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水産物供給基盤機能保全事業	32,598	漁港における物揚場護岸の老朽化が著しいため、保全工事を行い、漁業者が安全・安心した作業を行えるように、機能回復を図った。 ・豊北漁港土路物揚場保全工事 L=100.0m	179

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 38,365 千円
 決算額 32,524 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,296	9,241	4,000		1,987

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 漁業用施設整備事業 (防衛)	6,044	漁港内の航路において、漁船の安全航行・航行時間の短縮を図るため、測量・設計業務を行った。 船揚施設の経年劣化が著しいため、施設の機能回復・漁船修理の効率化を図るため、設計業務を行った。 なお、船揚場設計業務については、事業主体である伊勢湾漁協に補助金を交付した。 ・豊北漁港航路浚渫測量及び設計業務委託 一式	179
2. 津波・高潮危機管理対策緊急事業	26,480	漁港区域内における護岸の老朽化が著しいことから、早期に改修を行い、背後地の住民の生命・財産を守るため、護岸工事を行った。 ・豊北漁港護岸改良工事 L=63.6m	179

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 51,246 千円
 決算額 50,375 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,919			47,456

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	5,499	架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活にまつわるトラブルについて、専門相談員による相談を行った。また、被害を未然に防ぐため、紙芝居を作成し、高齢者クラブを中心にわかりやすい出前講座を行った。さらに、小さい頃からの消費者教育の重要性を認識し、小学校1校、中学校1校で出前授業を実施した。消費生活相談件数 618件	179

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 46,820 千円
 決算額 38,546 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10	38,536

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 商工制度資金利子補給事業補助金	1	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 1件	181
2. <u>小規模事業資金保証料補給補助金</u>	3,445	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。 補助件数 125件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 13,000千円 【過去2カ年度の実績】 ・平成24年度 148件 3,886,701円 ・平成23年度 182件 7,135,069円 【事業を取り巻く状況等】 保証料を補給補助することによって小規模事業者の経営の安定化を促進し、事業の振興発展に寄与する。	181
3. 経営改善普及事業補助金	17,850	地域経済を支える中小企業・小規模企業の経営改善及び経営基盤の強化を支援するため、伊勢中小企業相談所(伊勢商工会議所内)及び小俣町商工会が行う経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。 補助件数 2件	181

(款)7 商工費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 商業活性化推進事業	5,960	<p>地域のコミュニティ機能の担い手としての役割が期待される中心市街地商店街等の活性化を図るために次の事業を行った。</p> <p>(1) 買い物環境整備事業補助金 補助件数 6件 地域住民や観光客等の買い物環境の整備を目的に、消費者のニーズに応えた商業環境の整備を新たに実施する店舗、商店街等への補助金を交付した。</p> <p>(2) 商店街空店舗対策事業 補助件数 6件 中心市街地商店街の空店舗の解消を図るために、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する空店舗対策事業に補助金を交付した。</p> <p>(3) 商店街活性化対策事業 中心市街地商店街等の集客力及び機能回復を図るために、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する商業まちづくり補助金事業と三重県立明野高等学校との交流事業を行う商店街に対して補助金を交付した。 ①商業まちづくり補助金 補助件数 2件 ②商店街活性化事業補助金 補助件数 2件</p> <p>(4) 商店街支援事業（調査対象：10商店街） 商店街の環境整備及び振興を図るため、伊勢市商店街連合会が行う商店街の街路灯等のLED化に係る調査に要する経費に対して補助金を交付した。 補助件数 1件</p>	181
5. <u>住宅・店舗リ フォーム促進事業 補助金</u>	9,627	<p>市内住宅関連産業の振興を促し、地域経済の活性化を図るために、住宅や店舗のリフォーム又は増改築を行う者に対し、補助金を交付した。 補助件数 123件</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,000千円 ・住宅 60件 ・店舗等 20件</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成24年度 9,717千円 補助件数 121件 平成23年度 9,628千円 補助件数 110件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 補助金を受けた方へのアンケート調査において、本補助金制度がリフォーム又は増改築を行うきっかけとなったとの回答が過半数以上あり、この制度の実施が市内の住宅関連産業の振興を促し、地域経済の活性化につながっている。</p>	181
6. 地域産品販売促進事業	1,663	<p>式年遷宮に向けて、伊勢の魅力を全国に発信し、特産品のPRを行うため、首都圏等において物産展を開催した。また、首都圏で伊勢の食材や特産品などの販路拡大と新規需要の開拓を図るため、食材等のPRを行った。 【物産展】東京1回 神奈川（横浜）1回 大阪3回 【食材PR】東京2回</p>	181

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 198,941 千円

決算額 194,470 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			103,500	90,970

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ものづくり推進事業	11,198	<p>中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」、「新技術・地域資源開発補助事業補助金」を、伝統工芸品産業の再生と後継者育成に繋がる事業に対し、「伝統工芸品等再生支援事業補助金」を交付した。</p> <p>また、創業・起業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対して、保証料の補助を行った。(補助件数14件)</p>	181
2. 企業立地推進一般経費	2,902	<p>企業誘致用地の維持管理、及び企業誘致のための担当者の資質向上に努めた。</p>	181

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 企業立地推進事業	4,764	<p>産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、全国の企業を対象とした企業動向調査、市内企業への情報収集などを実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,149,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問の実施 ・企業立地セミナー開催 ・企業誘致パンフレット作成 ・新聞広告掲載 5回 ・企業立地動向調査 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金 <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 7,754,113円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問の実施 ・企業立地セミナー開催 ・企業誘致パンフレット作成 ・日経事業用地ナビ（事業用地検索サイト）への掲載 ・新聞広告掲載 5回 ・企業立地動向調査 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金 <p>平成23年度 7,952,611円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問の実施 ・企業立地セミナー開催 ・企業誘致パンフレット、チラシ作成 ・日経事業用地ナビ（事業用地検索サイト）への掲載 ・新聞広告掲載 6回 ・神薮工業団地不動産鑑定評価 ・企業立地動向調査 ・企業情報抽出 ・立地用地PR用DVD修正 ・神薮工業団地案内看板設置 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サン・サポート・スクエア伊勢については昨年度までに8社の立地が決定し、立地決定面積は全体面積の約87%となった。 ・更なる企業誘致の推進の為には、新たな適地の確保が急務となっている。 ・全国的に見ると生産拠点の統廃合などによる既存立地企業の地域外流出の動きもある為、市内立地企業の市外移転を防ぐ手立ても必要となっている。 	181
4. 工場等誘致奨励事業	96,834	<p>「伊勢市工場等立地促進条例」に基づき、奨励金を交付した。</p> <p>奨励金実績 96,833,700円（3件）</p>	181
5. 産業支援センター 管理運営経費	45,002	<p>平成24年度より、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理制度を導入した。平成24年4月から5年間を指定管理期間とした。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問による課題の聞き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。</p>	181

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 331,875 千円
 決算額 314,804 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		36,600	52,783	225,421

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. バリアフリー観光 向上事業	7,712	<p>伊勢市内のバリアフリー観光について、旅行者側と受け入れ側の双方が求めるものを明らかにし、今後の施策の裏付けとして活用することを目的に、調査を実施した。その他、23・24年度に実施した宿泊施設のバリアフリー化支援の仕上げとして、宿泊キャンペーン等の事業を実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 8,395,000円 ・バリアフリー観光旅行調査 ・宿泊キャンペーン ・「バリアフリー観光全国フォーラム」</p> <p>【過去2カ年度の実績】 市内観光宿泊施設に対し、バリアフリー観光の無料相談やバリアフリー改修補助金の交付(1/2補助・上限400万円)などの支援を行った。 24年度 委託料 2,260,650円 補助金 15,099,000円(10施設) 23年度 委託料 2,832,000円 補助金 8,149,000円(7施設)</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 ・高齢化や障がい者の社会進出により、障がい者、高齢者の来訪機会増加が予想される。 ・観光地としてバリアフリー対応が必須となりつつある。 ・宿泊施設以外の観光分野へも意識啓発を行うことが課題</p>	183
2. 災害に強い観光地 づくり事業	67	<p>巨大地震発生時に津波発生が懸念される二見地域における観光客の避難対策推進を目的に、観光事業者等と勉強会を重ね、避難マニュアルの検討を行った。</p>	183
3. 観光振興基本計画 策定事業	9,164	<p>各種調査の結果から課題を導き出し、有識者や地元観光関連団体の代表者からなる会議において検討を重ね、平成26年度以降の観光振興の指針となる新たな観光振興基本計画の策定を行った。</p>	183

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 海水浴場管理運営 事業	4,629	<p>二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料(全体) 4,022千円 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営委託 2,745千円 ・防護フェンス設置委託等 750千円 ・清掃等その他委託料 527千円 ○修繕料 290千円 (ポンプ室内タンク設置台修繕等) ○その他諸経費(光熱水費等) 317千円 ○開設期間 平成25年7月6日～8月31日 ○来場者数 H25 16,240人 H24 17,030人 	183
2. おもてなし推進事 業	51,418	<p>御遷宮にあわせ、内宮周辺を訪れる観光客への車椅子貸出事業、観光客のスムーズな誘導を目的とした案内サイン整備事業、外国人観光客の受入に対応するための観光業者のメニュー等の多言語化の促進、おもてなし研修会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 287,000円 ・案内サイン整備事業 39,692,400円 ・奉祝団体歓迎事業 1,462,138円 ・観光人材育成事業 142,780円 ・キャラクターおもてなし事業 2,258,790円 ・デジタルサイネージ導入事業 2,824,500円 ・二見浦駅にぎわいプロジェクト 198,030円 ・伊勢市駅前広場おもてなし用備品 719,165円 ・おもてなし多言語化促進事業 3,833,000円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 36,881,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 287,000円 ・案内サイン整備事業 15,877,000円 ・奉祝団体歓迎事業 6,000,000円 ・観光人材育成事業 300,000円 ・キャラクターおもてなし事業 1,620,000円 ・デジタルサイネージ事業 3,137,000円 ・二見浦にぎわいプロジェクト 490,000円 ・伊勢市駅前広場おもてなし用備品 1,170,000円 ・おもてなし多言語化促進事業 3,000,000円 ・西条だんじり来勢受入事業 5,000,000円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 303,345円 ・案内サイン整備事業 22,452,367円 ・奉祝団体歓迎事業 1,300,000円 ・観光人材育成事業 430,670円 ・キャラクターおもてなし事業 375,112円 ・音声ガイド事業 3,127,950円 ・二見浦にぎわいプロジェクト 300,000円 <p>平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 81,655円 ・案内サイン整備事業 818,272円 ・授乳コーナー設置工事 68,250円 ・観光人材育成事業 260,766円 	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 伊勢市駅、内宮周辺においても車椅子の無料貸出を行った。 ・案内サイン整備事業 観光客のスムーズな誘導を目的に案内看板等の設置及び改修を行った。 ・奉祝団体歓迎事業 受入実行委員会で7団体の受入を実施した。 (西条だんじりは平成26年度受入により含めず。) ・観光人材育成事業 観光業者及び市内の学生を対象に英語、中国語でのおもてなし研修会を実施した。 ・キャラクターおもてなし事業 はなてらすちゃんを観光PRキャラクターとして商標登録し、グッズの作成を行った。 ・デジタルサイネージ導入事業 市内各所の観光案内を映像で発信するため、市内観光案内所等にモニター(デジタルサイネージ)を整備した。 ・二見浦駅にぎわいプロジェクト JR二見浦駅を訪れる観光客のおもてなしを行うため、環境整備を行った。 ・伊勢市駅前広場おもてなし用備品 年末年始をはじめ、伊勢市駅前等のイベントで使用するためテントや机等を整備した。 ・おもてなし多言語化促進事業 外国人観光客が理解できるようにメニュー等に外国語表記を追記、作成した飲食店等の費用の一部を補助した。(28店舗) 	
3. 案内ガイド連携事業	700	市内で活動している観光ガイド団体及び案内所による「伊勢たびナビの会」において、観光客に対するおもてなし活動を行った。	183
4. 案内所管理運営経費	23,290	<p>JR伊勢市駅・宇治山田駅・宇治浦田・二見浦観光案内所で観光客の案内を行った。〔(公社)伊勢市観光協会、二見町旅館組合に案内業務を委託。〕</p> <p>また、観光客が軽装で観光ができるよう7月にJR伊勢市駅横に手荷物預かり所を開設し、荷物の一時預かりや宿泊施設等への配送サービスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 1,562,391円 ・修繕費 244,167円 ・通信運搬費 504,509円 ・保険料 13,965円 ・委託料 19,733,031円 ・賃借料 1,231,621円 	183
5. 観光協会負担金	6,067	(公社)伊勢市観光協会の財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援を行った。	183
6. 伊勢市宇治浦田観光案内所(仮称)整備事業	8,300	<p>内宮周辺の観光客の受入に対応するため、宇治浦田駐車場にある宇治浦田お休み処を改修し、観光案内所として整備した。</p> <p>開所日：平成25年4月27日(土)</p>	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 伊勢市駅前手荷物預かり所(仮称)整備事業	32,312	JR伊勢市駅横に鉄道を利用し訪れる観光客が軽装で周遊できるよう、手荷物の一時預かり及び宿泊施設等への配送ができる「手荷物預かり所」を整備した。 開所日：平成25年7月25日(木)	183

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	9,549	国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図り、より多くの集客に繋げた。また、施設の適正な管理を行い、維持向上に努めた。 ○入館者数 H25年度 37,796人 ・旧賓日館消防設備修繕工事 262千円 ・火災保険料 60千円 ・指定管理委託料 5,700千円 ・賓日館庭園樹木剪定業務委託 1,428千円 ・賓日館松くい虫防除(樹幹注入)業務委託 441千円 ・AED・駐車場用地賃借料 1,658千円	183

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 204,207 千円
決算額 197,041 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10	197,031

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>観光情報発信事業</u>	59,932	誘客宣伝を目的に、広告、パンフレット、ホームページ、セールス活動等情報発信を行い、来訪者の新規開拓、リピーターの確保を図った。 また、公共交通利用促進の周知も行った。 ・広告媒体を活用した情報発信 掲載件数 28件 ・観光バスへの全面広告掲載 ・デジタルメディアを活用したタクシー車内等での広告 ・放送メディアを活用した情報発信 ・駅前ポスターでの公共交通利用促進PR ・各地域主要旅行会社へのセールス活動 ・インターネットを活用した情報発信 アクセス数 2,271,186件 ・パンフレット等作成による情報発信並びに誘客活動 パンフレット郵送件数 1,171件 ・外宮周辺の魅力創出および発信事業 ・観光需要創出事業 ・フェイスブックページ運用事業	183

(款)8 観光費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額（主な内訳） 62,805千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告媒体を活用した情報発信 7,500千円 ・観光バスへの全面広告掲載 4,000千円 ・放送メディア等を活用した情報発信 30,000千円 ・誘客セールス活動 350千円 ・インターネットを活用した情報発信 2,181千円 ・パンフレット等作成 8,800千円 ・外宮周辺魅力創出・発信事業 1,875千円 ・夜の魅力創出事業 3,168千円 ・フェイスブックページ運用事業 0円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成24年度 23,790千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告媒体掲載件数 75件 ・観光パンフレット郵送件数 1,988件 ・ホームページアクセス数 1,214,201件 <p>平成23年度 21,981千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告媒体掲載件数 57件 ・観光パンフレット郵送件数 966件 ・ホームページアクセス数 837,292件 <p>【事業をとりまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は、通常の広告業務に加え、多くの観光客の来訪による交通渋滞等の対策のため、駅貼ポスター等による公共交通利用の促進も併せて行った。 ・今後も、引き続き多くの観光客に来ていただけるよう、リピーター確保に向けたターゲットを意識した広告展開が必要である。 	
2. 広域連携事業	7,506	近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化する観光客ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	183
3. 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業	4,000	観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等、伊勢への誘客事業を積極的に推進した。	185
4. 伊勢志摩広域観光活性化事業	17,681	伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び観光基盤整備事業、せんぐう旅博事業等を実施した。	185

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>外国人観光客誘致 推進事業</u>	10,887	<p>マーケットの成長力と規模から注目される中国・アジアとともに、ヨーロッパ諸国などからの誘客も視野に入れ、他地域と連携しつつ、市単独でも誘客に取り組んだ。</p> <p>他地域連携事業として東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会等へ参画した。</p> <p>市単独事業としては、日本外国特派員協会にて講演会・交流会の実施及びその外国特派員のプレスツアーを実施。</p> <p>また、アイティービー行政放送の番組「桂三輝の『伊勢で一席』」を作成し、英語字幕を付けYouTubeで公開した。さらに、皇學館大学と協働で、外国人短期留学生を招聘し情報発信する事業を行った。外国語HPの充実化を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 13,441,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会 ・伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会 ・訪中ミッション ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業 ・英語字幕付きPR映像作成及び公開 ・外国人観光客誘致促進講演会 ・外国人観光客誘致促進プレスツアー ・外国人建築家招聘 ・観光情報HP多言語化 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 5,228,420円 ・平成23年度 2,151,319円 <p>【事業をとりまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国内での伊勢の知名度は申し分ないが、国外に目を転じた場合、知名度はまったくないに等しい。 ・人口減少社会においては伊勢への観光客は減少とならざるを得ず、国外からの誘客戦略展開が急務となっている。 	185
6. 御遷宮誘客宣伝事業	22,529	<p>御遷宮に誘客を行うため、「全国でのPRキャラバン」、「発地での旅行機会提供」、「媒体を介した発信」の3事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRキャラバン実施 16箇所 ・伊勢単独旅行商品全国展開事業 大手旅行会社による伊勢専用パンフレットの作成 遷宮情報を入れた観光案内データ作成 共通ロゴの展開 「伊勢お餅三昧」クーポンの展開 ・タウン誌メディアツアー 雑誌社を対象とした取材ツアーの開催によるメディアへの情報発信 	185

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 御遷宮旅客受入基 盤整備事業	19,273	<p>第62回神宮式年遷宮斉行に伴い、観光客の増加が見込まれることから、交通渋滞対策や公共交通機関の利用促進、観光客の市内周遊の利便性向上などのため、三重交通株式会社と協働で市内観光周遊バス「参宮バス」（外宮～夫婦岩ルート、スカイラインルート）の運行を開始した。</p> <p>事業負担金額 19,173,000円 チラシ印刷 99,750円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 25,826,000円 事業負担金 25,500,000円 チラシ・ポスター印刷 326,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成25年度新規事業のため、過去の実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・運行開始が平成25年7月20日からとなった。 ・協定先での自主的な事業継続を実現するためには、利用者増が必要である。</p>	185

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ誘客推進 事業	12,332	<p>伊勢フットボールビレッジ等の市内にあるスポーツ施設を利用した大会・合宿・イベント等の開催を誘致し、スポーツ観光による誘客を行った。</p> <p>・伊勢フットボールビレッジ推進事業 102,180円 ・集大会・スポーツ合宿誘致補助金 12,230,000円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 31,000,000円 ・伊勢フットボールビレッジ推進業務委託 5,000,000円 ・集大会・スポーツ合宿誘致補助金 26,000,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 ・PRチラシ作成費用 75,600円 平成23年度 事業なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 市内に宿泊したスポーツ大会や合宿の宿泊者数に応じて補助金を交付した。 また、補助金制度の周知のため中部、関西地方の大学にチラシを送付した。 ・申請団体 53団体 ・宿泊者数 12,230人(延べ) ・チラシ送付大学数 195校</p>	185
2. 観光客受入環境創 出事業	5,902	<p>観光客誘致を広域的かつ効果的・効率的に行うため、近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化し、観光客の受入体制・事業の充実を行った。</p> <p>・美し国三重「寄せ植え」コンテスト ・(公社)伊勢市観光協会と協働事業 春まつり、観光交流・伊勢会議、御幣鯛行事、 年末年始旅客の観光客受入等の実施</p>	185

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 花火大会開催負担金	37,000	45業者の花火師が参加。打上花火の部45組、スターマインの部10組の2部門で競われ、また神宮式年遷宮奉祝として開催し、約10,000発が打ち上げられ、約27万人が観覧した。	185

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 190,270 千円
 決算額 190,270 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				190,270

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>民俗伝統行事推進事業負担金</u>	185,270	<p>地元奉獻団長で組織する「第62回式年遷宮御白石奉獻団連合会」において調整を重ね、「お白石持行事」を円滑に実施することができた。</p> <p>お白石持行事の環境を整えるため交通規制や警備員の配置等に取り組んだほか、臨時駐車場の開設やパーク&バスライドなどの交通対策を行った。</p> <p>また、「セントレア」や「六本木ヒルズ」に奉曳車を展示し、伊勢への誘客PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗伝統行事推進事業負担金 184,870,000円 初穂曳実施負担金 400,000円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 185,270,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗伝統行事推進事業負担金 184,870,000円 初穂曳実施負担金 400,000円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗伝統行事推進事業負担金 27,000,000円 初穂曳実施負担金 400,000円 <p>平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗伝統行事推進事業負担金 26,000,000円 初穂曳実施負担金 400,000円 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>伊勢の民俗行事「お木曳行事」、「お白石持行事」は20年に一度であるため、保存継承の取り組みを絶やすことなく継続していく必要がある。</p> <p>また、遷宮の年によりマスコミにも取り上げられ、平成25年は記録的な観光入込客数であったが、激減しないためにも、伊勢の魅力を継続して発信していく必要がある。</p> <p>【お白石持行事 参加人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元奉獻団 153,000人 (77団体) 特別神領民 73,675人 	185
2. 伊勢のまつりブランド化推進事業	5,000	<p>日本全国の有名な祭り24団体約1,600名による響演「祭のまつり」が、10月15日に外宮周辺にて開催され、14日のサンアリーナにおける前夜祭もあわせて、多数の観客が訪れた。</p> <p>また、伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が15日は外宮、16日は内宮で実施された。</p> <p>【期間中 (10/14~16) の観客数】 (延べ) 99,500人</p>	185

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 231,347 千円
 決算額 224,447 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,789			214,658

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地籍調査推進事業	25,488	<p>国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。</p> <p>(概要)</p> <p>地籍調査業務 一式 3件</p> <p>○調査区域</p> <p>①本町・一志町・宮後1丁目 調査面積 0.10 k m²</p> <p>②吹上2丁目 調査面積 0.13 k m²</p> <p>③岩淵1丁目 調査面積 0.10 k m²</p> <p>長狭物等事前調査業務 一式 1件</p> <p>システム構築業務 一式 1件</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 32,435,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査業務 一式 ・長狭物等調査事業業務 一式 ・システム構築業務 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度 15,206,265円</p> <p>地籍調査業務 一式 5件</p> <p>○調査区域</p> <p>①岩淵2丁目 調査面積 0.07 k m²</p> <p>②岩淵1丁目 調査面積 0.10 k m²</p> <p>③本町・一志町・宮後1丁目 調査面積 0.10 k m²</p> <p>④吹上1丁目 調査面積 0.01 k m²</p> <p>⑤東豊浜町 調査面積 0.26 k m²</p> <p>※地籍調査スタートアップ事業 (県補助100%)</p> <p>平成23年度 13,637,517円</p> <p>地籍調査業務 一式 3件</p> <p>○調査区域</p> <p>①岩淵2丁目 調査面積 0.07 k m²</p> <p>②岩淵3丁目・岩淵町 調査面積 0.12 k m²</p> <p>③岩淵1丁目 調査面積 0.10 k m²</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地籍を明確にすることにより、所有者の資産である土地の保全はもとより、公共事業におけるコストの削減や、土地取引に係る業務の簡素化が図られ、また、巨大な地震などに伴う津波等の被災時には、迅速な境界復元による災害復興の基盤づくりに対する効果が大きいことから、社会的な需要は年々高まってきている。 	頁 187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 175,681 千円
 決算額 174,574 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
56			1,134	173,384

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	6,992	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。	187
2. 道路台帳整備経費	10,395	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 6.5 km 廃止及び未共用 1.2 km 改良 6.1 km	187

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	113	狭あい道路の解消を図るため、建築行為等に際して、過年度に寄付採納した道路後退用地に対し、舗装工事を行った。 (概要) 舗装工事 2件 面積 15.8 m ²	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 355,613 千円
 決算額 351,311 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
59,156		93,700	6,024	192,431

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	41,059	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 (概要) ・舗装工事 6件 A = 8,699 m ²	187

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 道路舗装事業（防 災交付金）	114,426	市街地と南部地域を結び、災害時の緊急避難路及び連絡道路として位置付けられる宮本1号線において、路床改良及び舗装整備を行うことで道路機能の回復を図った。 （概要） ①平成24年度から繰越 ・測量設計等 4件 ・舗装工事 1件 A = 11,423㎡ ◇社会資本整備総合交付金事業	187
3. <u>道路維持補修経費</u> <u>（防災・安全交付</u> <u>金）</u>	7,844	トンネル点検、詳細調査でひびわれなど損傷状況を把握した上で、修繕計画の立案及び計画的な修繕をトンネルの長寿命化計画に従い実施することにより、コスト削減を図った。 （概要） 調査業務 一式 修繕計画策定業務 一式 ◇社会資本整備総合交付金事業 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,300,000円 修繕計画策定業務 一式 【過去2ヵ年度の実績】 平成25年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・中央自動車道で発生した事故などトンネルの老朽化等における事故を未然に防ぎ、安心・安全に通行できるトンネルの維持管理を行ううえで必要である。 ・道路交通の安全性を確保する上で、これまでの破損してから修繕するという事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換していく。	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 606,362 千円
決算額 605,322 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
403,469		134,300	242	67,311

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庄3号線道路改良 事業	841	三重県による宇治山田港海岸今一色工区着手に伴い、工事期間中は海岸の工事用道路としても利用する目的で、市道庄3号線を市と県の費用負担により整備する。今年度は用地測量に関する伊勢市分の負担を行った。 （概要） 用地測量業務 一式 物件調査業務 一式	189

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	192,265	<p>市単独事業による道路拡幅整備等により道路機能の改善を行い、生活環境基盤の整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>測量業務 一式 3件 測量業務・設計業務 一式 2件 詳細設計業務 一式 1件 工作物調査業務 一式 1件 建物調査業務 一式 2件 概略・予備設計業務 一式 1件 道路改良 L=1,561m 9件 区画線設置 一式 1件 整地 A=2,300㎡ 1件 ネットフェンス隙間材設置 一式 1件 用地 A=2,495.29㎡ 補償 6名(延べ人数)</p>	189

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	412,216	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分 407,974,350円 ・測量設計業務等 一式 17件 ・一般改良 28件 L=8,189.9m</p> <p>②平成24年度から一部繰越 4,241,850円 ・一般改良 1件 L=639.8m</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 404,300,000円 ・測量設計業務等 一式 ・一般改良 19件 L=9,520.0m</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成24年度 321,615,990円 ・測量設計業務等 一式 41件 ・一般改良 一式 24件</p> <p>平成23年度 344,195,250円 ・測量設計業務等 一式 53件 ・一般改良 一式 31件 (前年度からの繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・道路施設は破損、劣化、老朽化などにより、工事の必要な箇所は毎年生じるため、事業は永久的に必要である。 ・道路側溝の老朽化による改良等は、自治会等からの要望が数多く寄せられ、市民ニーズの高い事業であり、今後も継続していく必要がある。</p>	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 40,033 千円
 決算額 38,196 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,909		13,700		15,587

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 禊橋橋梁整備事業	14,518	名勝二見浦に位置する禊橋は、老朽化が著しく、その対策が必要である。このことから、名勝地の形状変更に必要な文化庁長官の許可を得て名勝地にふさわしい景観を生み出すとともに安全な橋梁を整備するため事業を推進している。 (概要) 詳細設計業務 一式 1件	189

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 橋梁長寿命化事業 (防災・安全交付金)	16,591	道路交通の安全を安定かつ継続的に確保するには、破損してから修繕を行う事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図ることによるコスト削減が必要となる。 このことにより策定された長寿命化修繕計画に基づき宮川橋に伸縮装置を設置した。 (概要) 橋梁修繕 1橋 ◇社会資本整備総合交付金事業	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 43,573 千円
 決算額 43,545 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				43,545

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	14,312	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) ・道路反射鏡 5 1 基 ・道路照明灯 2 4 基 ・防護柵設置工 1 1 8. 5 m ・区画線工 2 4 1 m ・高輝度カラー路面標示工 7 7 m ² ・車線分離標 6 本	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 129,582 千円
 決算額 113,582 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
49,183		45,200	14,171	5,028

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 勢田5号線ほか1 線整備事業(交付 金)	38,473	<p>本路線は、主要地方道伊勢磯部線と緊急時の拠点となる県庁舎を結ぶ重要路線であるが、道路幅員が狭く、急カーブがあるため安全性に欠ける。このことから、緊急時の道路機能を保持し、市民生活を守るため、本路線の事業を推進した。</p> <p>(概要)</p> <p>道路改良 L = 524 m 2件 区画線設置 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	189
2. <u>通学路整備事業</u>	43,615	<p>小学校の通学路における緊急合同点検での要対策箇所をはじめ、通学路の対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行者空間を確保するため、事業を推進している。</p> <p>(概要)</p> <p>建物調査業務 一式 1件 測量業務・設計業務 一式 1件 道路改良 L = 46 m 1件 砂利敷設 A = 80 m² 1件 用地 A = 161.64 m² 補償 5名(延べ人数)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 48,120,000円 ・建物調査業務 一式 ・測量業務・設計業務 一式 ・用地・補償 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成25年度新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況】 ・伊勢玉城線は、当初、用地取得と建物補償のみを予定していたが、一定区間の用地の取得が可能となったため、早期に事業効果を発揮できるよう当該箇所の工事を行った。また、事業を計画的に進捗させるには用地取得が肝要であるため、引続き、用地交渉に取り組んでいく。 ・御菌2号線は、当初、測量及び設計を行い用地取得までを予定していたが、次年度に用地取得を行い、工事を進める。また、事業の整備内容については、学校関係者や地元自治会、公安委員会、道路管理者等関係者との協議が必要である。</p>	189

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 通学路整備事業	31,494	<p>小学校の通学路における緊急合同点検での要対策箇所をはじめ、通学路の対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行者空間を確保するため、事業を推進している。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成24年度から繰越</p> <p>舗装工 A=5,547㎡ 3件 区画線工 一式 3件 高輝度カラー路面標示工 A=795㎡ 3件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 繰越予算額 33,100,000円 通学路安全対策工事 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度新規事業 (実績なし)</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は外宮内宮線の施行を予定している。 事業の整備内容については、学校関係者や地元自治会、公安委員会、道路管理者等関係者との協議が必要である。 	189

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 2. 勢田川対策費

(単位 千円)

予算現額 16,382 千円
決算額 16,011 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,146				5,865

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 勢田川浄化経費	14,687	<p>平成5年10月から、宮川7.4km地点(辻久留2丁目地内)で取水し、勢田川5.1km地点(小田橋下流)に、0.7m³/秒以下、4.4km地点(吹上ポンプ場付近)に0.3m³/秒以下の導水を行っている。 (平成25年度稼働日数350日)</p>	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 100,003 千円
 決算額 42,853 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				42,853

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	42,853	流下断面の不足や護岸、河床の浸食等により人家等への災害発生が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良を行い、浸水被害や災害の防止対策を進めている。 (概要) ①平成25年度現年分 詳細設計業務 一式 1件 建物調査業務 一式 1件 水位調査業務 一式 1件 河川改良 L=235m 1件 ②平成26年度へ一部繰越 河川改良 L=401m 2件	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 6. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 132,370 千円
 決算額 55,546 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		32,300	1,579	21,667

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 排水施設整備事業	55,546	<p>豪雨時の急激な増水等による浸水を防止するため、排水路の整備を進めている。また、自然排水が困難な地域においては、ポンプ場の新設・増設等を行うことで、浸水被害の防止対策を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分 基本設計業務 一式 1件 ゲート設置工 一式 1件 用地 A=1,437.89㎡</p> <p>②平成24年度から繰越 電気設備工 一式 1件</p> <p>③平成24年度から繰越 機械設備工 一式 1件</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 135,809,000円 ・基本設計業務 一式 ・排水路改良 一式 ・ゲート設置工 一式 ・用地・補償 一式 繰越予算額 106,203,000円 ・工事施工委託 一式 ・排水路改良 一式 ・機械設備工 一式 ・電気設備工 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 48,987,016円 測量設計業務等 一式 4件 排水路改良 一式 2件 ポンプ場整備 一式 8件 補償 一式 2件 (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む) 平成23年度 166,727,908円 測量設計業務等 一式 7件 ポンプ場整備 一式 5件 排水路改良 一式 3件 用地 一式 1件 補償 一式 2件 (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況】 ・明野排水路改良事業において、鉄道に近接する工事となるため鉄道事業者との協議において入札参加に有資格者の配置が条件となったが、全国的に鉄道に近接する工事が多く有資格者が不足していたため応札者がなかった。このことから、鉄道事業者と施工の手順等について、再度協議を行い、次年度に発注時期・規模等も調整したうえで進めることとなった。 ・宮川右岸において、河川水位上昇に伴う内水排除への対策が求められている。</p>	頁 193

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 36,015 千円
 決算額 22,233 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,235	13,000	268	4,730

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	14,594	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区、神前地区、松下地区 港湾改修：宇治山田港（大湊）	193

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 2,190,430 千円
 決算額 2,170,169 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	169			2,170,000

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 都市計画公園見直し調査検討経費	4,694	伊勢市の長期未整備の都市計画公園を見直すための、見直し方針案の作成を行った。 (概要) ・公園カルテの作成 ・見直しガイドライン作成 ・必要性の検討・評価	193

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 277,502 千円
 決算額 277,092 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,880		4,600	229,506	41,106

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>中心市街地都市機能再生促進事業</u>	161,239	<p>本事業は、平成24年度から繰り越した「伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託」(2ヵ年施行)の2年次分を施行することにより、伊勢市駅前民間開発事業(ジャスコ跡)の事業評価と関連する当該事業の費用便益分析を行った。また、伊勢市市街地再開発事業等補助金(ジャスコ跡)の交付を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成24年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託 一式 1件 ・伊勢市市街地再開発事業等補助金(ジャスコ跡) 一式 1件 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>繰越予算額 161,239,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託 一式 ・伊勢市市街地再開発事業等補助金(ジャスコ跡) 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度 2,488,500円</p> <p>伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託 一式 1件 (前年度からの繰越)</p> <p>平成23年度については、実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>本事業に関連し、経済状況の急激な悪化等により、進捗が停滞している市街地再開発事業等について市が緊急的に上乗せ支援を行い、事業を促進することで中心市街地の活性化を図ることを目的とした「中心市街地都市機能再生促進事業(緊急促進分)」を平成24年6月補正にて予算計上し、平成25年度へ繰越した後、伊勢市市街地再開発事業等補助金(ジャスコ跡)と併せ、交付を行った。</p> <p>補正予算額 68,000,000円</p> <p>伊勢市市街地再開発事業等都市・地域再生緊急促進事業補助金(ジャスコ跡) 68,000,000円</p> <p>平成25年8月に伊勢市駅前民間都市開発事業(ジャスコ跡)が完了した。</p>	195

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																	
2. <u>中心市街地再生事業(交付金)</u>	17,953	<p>社会資本整備総合交付金を活用したまちづくり活動推進事業として、地域の資源を活かし、中心市街地の賑わいを創出するための市民団体によるまちづくりを推進した。また、社会資本総合整備計画の中間年度にあたることから、中間目標値の達成状況を確認することにより事業効果を検証した。</p> <p>さらに、伊勢市駅前地区を中心とした市街地再開発事業等の検討を行うため、伊勢市市街地総合再生基本計画の策定および関連する周辺交通流動調査を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>(市街地整備交付金)</p> <table border="0"> <tr> <td>まちづくり活動支援事業</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>(住環境整備交付金)</p> <table border="0"> <tr> <td>計画策定業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>(市街地整備交付金)</p> <p>当初予算額 4,720,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>まちづくり活動支援事業</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査業務</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>(住環境整備交付金)</p> <p>当初予算額 23,500,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>計画策定業務</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査業務</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度 6,168,510円 (市街地整備交付金のみ)</p> <table border="0"> <tr> <td>まちづくり活動支援事業</td> <td>一式</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>再開発検討業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>平成23年度 2,039,525円 (市街地整備交付金のみ)</p> <table border="0"> <tr> <td>まちづくり活動支援事業</td> <td>一式</td> <td>4件</td> </tr> </table> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>社会資本総合整備計画に基づき実施している「伊勢市駅前市街地再開発事業基本計画策定業務委託」については、民間事業者の事業進捗状況に合わせ、平成26年度に実施することとなった。</p> <p>今後も引き続き民間事業者の進捗状況の把握に努めるとともに、国の補助制度等を効果的に活用できるよう関係機関との協議や情報収集を行う。</p>	まちづくり活動支援事業	一式	2件	調査業務	一式	1件	計画策定業務	一式	1件	調査業務	一式	1件	まちづくり活動支援事業	一式		調査業務	一式		計画策定業務	一式		調査業務	一式		まちづくり活動支援事業	一式	3件	再開発検討業務	一式	1件	まちづくり活動支援事業	一式	4件	195
まちづくり活動支援事業	一式	2件																																		
調査業務	一式	1件																																		
計画策定業務	一式	1件																																		
調査業務	一式	1件																																		
まちづくり活動支援事業	一式																																			
調査業務	一式																																			
計画策定業務	一式																																			
調査業務	一式																																			
まちづくり活動支援事業	一式	3件																																		
再開発検討業務	一式	1件																																		
まちづくり活動支援事業	一式	4件																																		

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 594,550 千円
 決算額 538,358 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
223,584	20,000	265,300	11,573	17,901

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	12,225	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。(新国道)	197

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	211,305	<p>八日市場高向線ほか1線は、市内の幹線道路として、伊勢市地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分 再積算業務 一式 3件 除草業務 一式 1件 用地 A=734.99㎡</p> <p>②平成24年度から繰越 建物調査業務 一式 1件 境界杭設置業務 一式 1件 用地 A=386.24㎡ 補償 2名(延べ人数)</p> <p>③平成26年度へ一部繰越 建物調査業務 一式 1件 補償 6名(延べ人数)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197
2. 八日市場高向線整備事業(交付金)	154,922	<p>八日市場高向線は、市内の幹線道路として、伊勢市地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分 再積算業務 一式 1件 除草業務 一式 1件 道路改良 L=103m 1件 用地 A=84.38㎡</p> <p>②平成24年度から繰越 境界杭設置業務 一式 1件 道路改良 L=32m 1件 用地 A=191.53㎡</p> <p>③平成26年度へ繰越 図書作成業務 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197
3. 本町宮川堤線改良事業	1,767	<p>伊勢市駅と外宮をつなぐ外宮参道と交差する本路線は、無電柱化されていないことから、外宮参道上空において電線類が見えた状態であり景観を阻害している。そこで電線類を地中化することにより都市景観の向上と災害に強いまちづくりを進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>測量業務 一式 1件</p>	197
4. 伊勢市駅前広場整備事業(交付金)	134,430	<p>伊勢の顔づくりとして、伊勢市駅南口の景観を創造し、交通結節点としての機能の向上を図るとともに、広場機能の充実を図るための整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成24年度から一部繰越 照明灯設置 一式 1件 広場整備 一式 1件 天蓋施設設置 一式 1件</p> <p>②平成24年度から繰越 交通安全施設設置 一式 1件 補償 2名(延べ人数)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁									
5. 富向小俣線調査事業	21,941	<p>現在の宮川橋は、老朽化が著しい状況であるが、橋梁の設置位置の問題から現位置での架替えが困難である。そのため、代替機能を持つ本路線の整備が必要である。宮川に新たに橋梁を架設し、交通の円滑化及び道路環境改善を図るため整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <table> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>予備設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 27,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 予備設計業務 一式 解析業務 一式 地質調査業務 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成25年度新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁形式について、関係機関と調整し、河川管理者との協議を進めている。 今後、河川管理者との協議を進める中で、市が水理解析を行い、橋梁形式を決定する。 	測量業務	一式	2件	予備設計業務	一式	1件	地質調査業務	一式	1件	197
測量業務	一式	2件										
予備設計業務	一式	1件										
地質調査業務	一式	1件										

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 699,362 千円
決算額 484,647 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
204,232		248,400	6,622	25,393

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公園整備事業(交付金)	26,043	<p>都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>長寿命化計画策定業務 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197
2. 二俣西口公園(仮称)整備事業(防災交付金)	27,968	<p>市営住宅跡地を有効利用し、子供の遊び場や高齢者の憩いの場としてレクリエーション及びコミュニティ活動の拠点となる公園の整備を進めるとともに、緊急避難場所として利用できる公共広場を確保するよう進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成24年度から繰越公園整備 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>倉田山公園整備事業(防災交付金)</u>	170,227	<p>倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設や、憩いの場、スポーツレクリエーションの場としての整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分 修正設計業務 一式 1件 補償 1名</p> <p>②平成24年度から繰越 配水本管布設替工事にかかる工事費負担 一式 1件 公園整備 一式 2件</p> <p>③平成26年度へ一部繰越 公園舗装 A=2, 713㎡ 1件 公園整備 一式 1件</p> <p>④平成26年度へ繰越 照明灯設置 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 488,602,000円 ・公園整備 一式 3件 繰越予算額 182,109,000円 ・公園整備 一式 2件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 20,586,300円 詳細設計業務 一式 1件 平成23年度については、倉田山公園整備事業で基本設計ほかを実施。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・倉田山公園は防災公園として充実を図るとともに、新消防本部庁舎及び防災センターを建設する予定である。</p> <p>【平成25年度事業費(平成24年度繰越含む)】 都市整備部執行分 [基盤整備課] (小)倉田山公園整備事業(防災交付金) 170,227,250円 (小)倉田山公園整備事業(公園交付金) 193,683,400円 [建築住宅課] (小)倉田山公園整備事業(防災交付金) 18,965,602円</p>	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 倉田山公園整備事業（交付金）	193,683	<p>倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設や、憩いの場、スポーツレクリエーションの場としての整備を進めている。</p> <p>（概要）</p> <p>①平成25年度現年分 予備設計業務 一式 1件 公園整備 一式 1件</p> <p>②平成26年度へ一部繰越 公園整備 一式 1件</p> <p>③平成26年度へ繰越 照明灯設置 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197
5. 公園整備事業（防災・安全交付金）	47,760	<p>都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めた。</p> <p>（概要）</p> <p>公園改修 一式 6件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	197

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>倉田山公園整備事業（防災交付金）</u>	18,966	<p>倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設や、憩いの場、スポーツレクリエーションの場としての整備を進めている。</p> <p>倉田山公園は防災公園として充実を図るとともに、新消防本部庁舎及び防災センターを建設する予定である。</p> <p>（概要）</p> <p>①平成25年度現年分 建築確認に係る手数料等</p> <p>②平成24年度から繰越 設計業務 一式 1件 設計単価見直し業務 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【平成25年度事業費（平成24年度繰越含む）】 都市整備部執行分 〔基盤整備課〕 (小) 倉田山公園整備事業（防災交付金） 170,227,250円 (小) 倉田山公園整備事業（公園交付金） 193,683,400円 〔建築住宅課〕 (小) 倉田山公園整備事業（防災交付金） 18,965,602円</p>	197

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 218,287 千円
 決算額 206,925 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,410	96		133,717	45,702

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁									
1. 公営住宅維持管理 経費	91,730	<p>平成24年10月より指定管理者による市営住宅の管理を開始し、単身高齢者等の定期巡回や、休日・夜間も含め、迅速な対応が可能となり、入居者サービスの向上に繋がった。また、住宅の調査等も定期的に行い、効率的かつ経済的な管理運営を行った。</p> <p>指定管理者：FE住宅管理共同企業体 期間：平成24年10月1日 ～平成29年3月31日 期間全体の 指定管理料：377,947,542円</p>	199									
2. 住宅等改修事業	21,410	<p>市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>排水管清掃業務</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>外部倉庫取替</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>サッシ取替</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table>	排水管清掃業務	一式	2件	外部倉庫取替	一式	1件	サッシ取替	一式	1件	199
排水管清掃業務	一式	2件										
外部倉庫取替	一式	1件										
サッシ取替	一式	1件										

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>3. <u>住宅等整備事業</u></p>	<p>63,675</p>	<p>本事業は、国の助成を受けて市営住宅の整備を行い、住宅の機能向上及び高齢者等が安心して生活できる住まいづくりを推進するため行うものである。</p> <p>平成25年度においては、市営住宅ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげ、ストックの有効活用と効率的かつ円滑な更新のため、伊勢市営住宅等長寿命化計画を策定した。</p> <p>また、入居者の住環境の改善及び市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成25年度現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画策定業務 一式 1件 ・サッシ取替 一式 1件 ・老朽化住宅入居者移転助成補償費 一式 2件 <p>②平成24年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根改修 一式 1件 ・ケーブルテレビ引込線移設 一式 1件 <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 59,144,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画策定業務 一式 ・屋根改修 一式 ・サッシ取替 一式 ・老朽化住宅入居者移転助成補償費 一式 <p>繰越予算額 28,600,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビ引込線移設 一式 ・屋根改修 一式 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成24年度 22,250,925円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビ引込線移設 一式 1件 ・屋根改修 一式 1件 ・駐車場整備(舗装) 一式 1件 ・高齢者仕様改善 一式 1件 ・老朽化住宅入居者移転助成補償費 一式 1件 <p>平成23年度 27,909,150円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汲取り手数料(下水接続工事) ・公共下水道接続 一式 1件 ・高齢者仕様改善 一式 1件 ・浄化槽機械室解体 一式 1件 ・駐車場整備 一式 1件 ・老朽化住宅入居者移転助成補償費 一式 4件 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>国は、公営住宅において、点検の強化及び早期の管理・修繕により更新コストの削減を目指すため、長寿命化計画の策定及びこれに基づく予防保全的管理、長寿命化に資する改善を推進しており、平成26年度以降は、長寿命化計画に基づく改善事業、建替事業以外は、助成対象とならない。</p> <p>平成25年度に策定した伊勢市営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の改善を計画的に行っていく。</p>	<p>199</p>
<p>4. エレベーター防災 対策改修事業</p>	<p>3,360</p>	<p>エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。</p> <p>(改修箇所)</p> <p>市営住宅二俣団地、リバーサイドせせらぎ</p>	<p>199</p>

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,964,491 千円
 決算額 1,914,572 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,602	9,022	113,900	365,305	1,416,743

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 応急手当普及啓発事業	1,803	<p>「いつでも・どこでも・誰でも」応急手当が可能となるよう、自動体外式除細動器 (AED) の取り扱いを含めた講習を行い、市民への普及を図った。</p> <p>救命講習に係る消耗品 1,299千円 救命講習用資器材 1組 504千円</p> <p>【実績】 平成25年度救命講習実施回数 120回 受講延人数 4,362人</p>	201
2. 各種資機材購入経費	22,643	<p>救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。</p> <p>資材搬送車 1台 8,554千円 危険物災害調査車 1台 2,325千円 自動心臓マッサージシステム 一式 2,751千円 軽量消防用ホース 82本 3,007千円 防火外套一式 25組 3,229千円ほか</p>	201
3. 救急車購入事業	45,308	<p>高規格救急車2台を更新した。西分署に配備した高規格救急車は、アステラス製薬株式会社より車体の寄贈を受けた。</p> <p>西分署配備 (架装費及び高規格救急車高度救命処置用資機材購入) 17,968千円</p> <p>小俣分署配備 (高規格救急車高度救命処置用資機材含む) 27,069千円ほか</p>	201

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>消防本部庁舎新設事業</u>	110,664	<p> 昨年度からの繰越事業である伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事の設計業務委託と消防本部敷地の用地買収を行った。 </p> <p> ○平成25年度予算分 63,396千円 ・消防本部庁舎用地買収 ・開発行為許可申請 ・建築確認申請 ほか </p> <p> ○平成24年度からの繰越予算分 47,268千円 ・伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事設計業務委託 ・配水本管布設替工事に関する受委託 ・倉田山公園整備（その1）工事における耐震性防火水槽設置 ◇社会資本整備総合交付金事業 </p> <p> ○平成26年度へ繰越 ・倉田山公園整備（その4）工事における耐震性防火水槽設置 </p> <p> 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 202,113千円 ・消防本部の敷地の用地買収等 平成24年度からの繰越額 70,216千円 ・伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事の設計業務委託等 </p> <p> 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度実績 6,119千円 ・消防本部庁舎用地不動産鑑定業務委託 ・消防本部庁舎用地分筆業務委託 ・消防本部庁舎用地測量業務委託 ・消防本部庁舎用地地質調査委託 平成23年度実績なし </p> <p> 【事業を取りまく状況等】 倉田山公園が整備されつつある中、消防・防災センターの着工年度である平成26年度からは、施工のほか移設等に対するマネジメントについて検討が必要となる。 ・伊勢市行政防災無線・三重県行政防災無線・消防救急デジタル無線（共通波）等の移設 ・神田久志本町から倉田山公園内に庁舎を移転することによる緊急自動車の出動計画の見直し </p>	201

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 107,311 千円
 決算額 104,815 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,951		4,400	10,223	84,241

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	3,650	消防活動の円滑な遂行のため各種資機材を購入した。 消防団本部車 2,325千円 軽量消防用ホース 47本 1,129千円ほか	201
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	12,235	消防団車両更新計画に基づき経年の小型動力ポンプ付積載車2台を更新した。 小型動力ポンプ付積載車 ・消防団御菌分団御菌第2班 配備 ・消防団北浜分団有滝班 配備 12,138千円ほか	201

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 50,445 千円
 決算額 44,708 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		10,000	277	34,431

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	6,298	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓を設置し、消防水利の普及を図った。 単口消火栓 9基 6,298千円	203
2. 消防団車庫改修事業	11,057	消防団車庫の機能維持を目的とし改修を行った。 消防団北浜分団村松班車庫耐震補強設計業務委託 798千円 消防団北浜分団村松班車庫改修工事 10,259千円ほか	203
3. 消防水利施設整備経費	7,495	火災発生時において消防水利の活用に支障が生じる事の無いように、昼夜を問わず消防水利の位置が確認できるよう標識の設置、塗装を行った。また、老朽化した防火水槽等の修繕を行った。 消防水利蓋修繕及び防火井戸埋設工事 3,492千円 消防水利溶着塗装工事 2,352千円 消防水利標識設置工事 924千円ほか	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 消防署庁舎改修経費	4,277	経年により老朽化した各消防署庁舎を機能維持を目的として改修した。 消防署西分署塗装改修工事 3,788千円ほか	203

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 715,588 千円
決算額 567,309 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
203,619	12,696	209,000	13,254	128,740

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊資機材購入事業	907	新規結成の自主防災組織に対して、資機材倉庫や消火器などを交付し、地域防災力の向上を図った。 資機材配備 2隊：矢持町自主防災隊 神菌町自主防災隊	203
2. 自主防災隊補助事業	12,970	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災組織及び自治会の行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 2,460千円 82件 防災補助金 10,510千円 93件	203
3. 防災気象情報収集システム運用経費	1,927	災害対応に必要な初動体制を確保するため、気象予報事業者に委託し、気象情報の早期収集を図った。	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>地域防災力向上支援事業</u>	7,818	①自治会、自主防災組織、小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災講座を実施した。 ・実施回数 143回 参加人数 11,812人 ②地域住民主体のタウンウォッチングを行い、防災情報を記載した地区の防災マップを作成した。 ・作成地区 3地区(今一色、宇治浦田、船江) ③地域の自主防災組織の活動に不可欠である中心的役割を担うリーダーの育成を図るため研修会を開催した。 ・参加人数 145人 ④災害時の中心的役割を果たす危機管理課職員等を対象に研修を実施した。 ・実施回数 1回 ⑤災害時要援護者宅の家具固定を行った。 ・実施件数 48件 【当初予算における内容、計画】 ①防災アドバイザー賃金等 7,535千円(2人) ②地域防災マップ印刷経費等 461千円(5地区) ③リーダー研修開催経費 59千円 ④職員研修開催経費 58千円 ⑤家具固定業務委託等 660千円(60世帯) 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 ①実施回数 124回 参加人数14,083人 ②作成地区 5地区 ③参加人数 未開催 ④実施回数 1回 ⑤実施件数 40件 平成23年度 ①実施回数 129回 参加人数12,835人 ②作成地区 1地区 ③参加人数 103人 ④実施回数 1回 ⑤実施件数 53件 【事業を取りまく状況等】 ・東日本大震災の発災直後は、市民の防災意識はかつてないほど高まっていたが、震災から3年が経過し薄まりつつあることから、防災意識の維持を図るため、自治会、自主防災組織を中心とした、地域での講習会、訓練等の定期的な開催を働きかけていく。 ・地震、津波に関する情報は日々変化しており、これらの情報を積極的に取り入れ講習会等の場を通じて市民への啓発を行う。 ・小中学生に対する防災教育により、子ども達の防災意識の浸透は深まりつつある。この子ども達が大人になったとき、災害時に大きな役割を果たせることを期待して、啓発を継続していく。	205
5. 避難対策事業	4,325	①伊勢市地域防災計画の改訂に着手した。 ・地域防災計画の大幅な内容の見直し・充実 ・BCP（業務継続計画）の作成 ・災害対応手順のフローチャート化 ②宮川左岸沿岸部(豊浜・北浜地区)において、津波避難訓練を実施した。 ③伊勢市ハザードマップの増刷を行なった。	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 備蓄物資整備事業	13,523	伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整備を図った。	205
7. 防災行政無線整備事業	220,402	災害発生時に市民の生命・財産の安全確保を図り、応急対策、災害復旧・復興に関する業務を遂行するため、平成22年度から無線設備の更新及び統合を行い、平成25年度で完了した。 ・平成25年度整備 屋外拡声子局整備 67基	205

防災施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>避難所等整備事業</u>	214,882	<p>○津波からの避難困難地に対する緊急避難所として、津波避難施設等の施設整備を実施した。</p> <p>平成25年度予算分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難施設関連業務委託 1,825千円 有滝町:地質調査 ・避難所等整備工事 66,302千円 村松町津波避難施設新築工事 小林公民館外付避難階段等設置工事 ・津波避難施設用地購入 12,964千円 大湊町・一色町 ・その他(備品購入等) 14,517千円 <p>平成24年度繰越予算分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難施設関連業務委託 30,374千円 村松町:地質調査・建築設計 大湊町:用地測量・地質調査・造成設計・建築設計 一色町:用地測量・地質調査・造成設計 有滝町:用地測量・造成設計 ・避難所等整備工事 40,893千円 大湊町津波避難施設造成工事 ・その他 656千円 <p>○避難所の見直しに伴う看板設置及び、避難所等への情報伝達を図る防災行政無線戸別受信機の設置を行った。</p> <p>平成25年度予算分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所看板設置工事 看板設置 117基 撤去183基 46,182千円 ・伊勢市防災行政無線戸別受信機設置調査業務委託(危機管理課分) 伊勢市役所ほか181箇所 1,169千円 <p>【当初予算における計画、内容】</p> <p>平成25年度予算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難施設関連業務委託 40,000千円 村松町:地質調査・建築設計 大湊町:用地測量・地質調査・造成設計・建築設計 一色町:用地測量・地質調査・造成設計・建築設計 有滝町:用地測量・造成設計 二見町西:用地測量・造成設計 ・避難所等整備工事 127,295千円 ・津波避難施設用地購入 64,284千円 大湊町・一色町・有滝町・二見町西 ・避難所看板設置工事 77,628千円 ・戸別受信機設置工事 9,555千円 伊勢市役所ほか200箇所 	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書
		<p>平成24年度繰越予算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難施設関連業務委託 43,700千円 <ul style="list-style-type: none"> 村松町:地質調査・建築設計 大湊町:用地測量・地質調査・造成設計・建築設計 一色町:用地測量・地質調査・造成設計・建築設計 有滝町:用地測量・造成設計 二見町西:地質調査・建築設計 ・避難所等整備工事 129,375千円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外付階段及び屋上フェンス設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 浜郷小学校ほか13校 142,067千円 ・外付階段照明等設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 今一色小学校ほか15校 7,531千円 ・地震自動開錠防災鍵ボックス設置 <ul style="list-style-type: none"> 有緝小学校ほか20箇所 4,631千円 ・津波避難誘導看板設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 今一色小学校ほか18校 6,138千円 ・アマチュア無線用アンテナ設置 <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市役所ほか2箇所 300千円 <p>平成23年度</p> <p>平成24年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命を守るため、更なる避難環境の整備が必要である。 ・津波からの避難困難地に対する緊急避難所として、津波避難施設等の整備が急務であるが、候補地の選定及び用地交渉に不測の日数を要したことから、当初計画から若干の遅れが生じている。 ・平成24年度末に、国の交付金事業が採択されたことから、すでに作成されていた平成25年度予算と平成24年度3月補正予算とに重複が生じたものである。 ・戸別受信機の設置について、電波調査等に不測の日数を要したことから、設置工事は平成26年度に繰越となった。 	頁

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	33,114	<p>阪神・淡路大震災で昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。</p> <p>さらに、木造住宅耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>また、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、市内に存する危険なブロック塀等の撤去に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断等業務 一式 77件 ・補助金 <ul style="list-style-type: none"> 耐震補強設計補助 一式 20件 耐震補強工事補助 一式 18件 除却工事補助 一式 13件 リフォーム工事補助 一式 16件 ブロック塀等撤去費補助 一式 2件 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 66,672,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断等業務 一式 ・耐震相談会専門家派遣費 一式 ・耐震補強工事補助 一式 ・リフォーム工事補助 一式 ・準耐震補強工事補助 一式 ・除却工事補助 一式 ・耐震補強設計補助 一式 ・非木造等建築物耐震診断補助 一式 ・耐震シェルター設置補助 一式 ・ブロック塀等撤去費補助 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断等業務 一式 86件 ・耐震補強工事補助 一式 39件 ・リフォーム工事補助 一式 37件 ・除却工事補助 一式 13件 ・耐震補強設計補助 一式 47件 ・耐震シェルター設置補助 一式 1件 <p>平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断等業務 一式 448件 ・耐震相談会専門家派遣費 一式 1件 ・耐震補強工事補助 一式 16件 ・リフォーム工事補助 一式 14件 ・除却工事補助 一式 16件 ・耐震補強設計補助 一式 27件 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>本市は、東海地震の強化地域に指定されているとともに、東南海・南海地震の推進地域にも指定されている。</p>	205

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害ボランティア 支援事業	603	<p>災害発生時に市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンターに関して、有事の際に円滑な対応ができるよう、次の取り組みを行った(市社会福祉協議会への負担金600,000円により実施)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター設置・運営マニュアルの見直し ・関係団体との連絡会 ・視察研修会 ・コーディネーター養成講座 ・運営訓練 	205

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>災害時要援護者対策事業</u>	641	<p>災害時に、自分自身や家族の支援だけでは避難することが困難な方が迅速・安全に避難支援等が受けられる体制を整えるため、対象者に対し、災害時要援護者への登録を図った。 登録者 3,368人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,050,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害協定に基づく応急措置委託料(ヘルパー派遣) 50,000円 ・災害協定に基づく要援護者避難所利用料(福祉タクシー) 150,000円 ・災害協定に基づく要援護者避難所利用料 104,900円 ・災害時要援護者手帳印刷製本費 400,000円 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の訪問により、65歳以上のひとり暮らしの高齢者及び75歳以上の高齢者のみで構成されている世帯に対し、制度の周知を図った。 ・身体障害者手帳(肢体・内部障がい1~2級、視覚・聴覚障がい1~3級)、療育手帳(A1、A2)所持者に対し案内文等を郵送することで、制度の周知を図った。 ・今後は、介護事業所、要援護者避難所の協定締結数を増やしていく予定である。 	205

御蔭総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. CATV緊急防災システム管理運営経費	730	<p>御蔭町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入金、機器の設置費を負担し、地域の防災情報連絡手段の整備を実施した。(平成25年12月27日をもって加入受付を終了した。)</p> <p>負担金支出世帯 15世帯</p>	203

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 722,477 千円
 決算額 713,107 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,917	14,857		2,376	671,957

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. スクールバス運行事業	8,335	横輪・矢持地区では三重交通㈱にスクールバス運行業務を委託し、また高麗広地区では直営のスクールバスを運行し、児童生徒の通学上の安全を確保した。	頁 207
2. 小中学校適正規模化・適正配置推進事業	414	少子化の進行による様々な課題を解消し、より望ましい教育環境の構築と教育の質の向上を図るため、各地域での説明会等の開催や統合準備会の設置を行い、小中学校の適正規模化・適正配置の推進を図った。	207
3. <u>通学安全対策事業</u>	13,557	<p>長年に亘り、危険度の高いと指摘されたきた県道伊勢南島線の通学路は、宮川中学校スクールバス運行により生徒の通学上の安全を確保することができた。また、遠距離通学児童の通学上の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の2分の1を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮川中学校スクールバス運行業務委託 11,025,000円 ・乗車証用パスケース及びバス標識 82,500円 ・通学定期代助成 2,449,460円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 14,368,000円 目的：宮川中学校スクールバスの運行を民間委託 対象者数見込 73人</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 距離や危険度など公費負担の対象要件が整理されていないため、小中学校の適正配置に伴う通学区域の見直しに合わせ、基本的な考え方を整理する必要がある。</p>	207
4. 小中学校防災機能強化事業	7,140	小中学校において、地震、津波等自然災害発生時の児童生徒の安全確保及び避難所としての機能強化を図るため、停電時に非常用発電機と併せて照明を確保できるLEDパルーンライト投光機を各校の防災倉庫に配備した。	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 私立学校等振興助成事業	108,177	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：888人 ・補助金支給額：94,573千円</p> <p>○私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：727人 ・補助金支給額：3,635千円</p> <p>○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。 ・補助金支給額：9,969千円</p>	209

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	3,557	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。</p> <p>○科学創作展 ・内容：児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先：伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日：平成25年9月7日・8日 ・開催場所：伊勢市生涯学習センター ・委託料：195,006円</p> <p>○教育美術展 ・内容：児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先：伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日：平成25年11月30日・12月1日 ・開催場所：伊勢市生涯学習センター ・委託料：300,020円</p> <p>○音楽演劇発表会 ・内容：児童生徒による合唱・吹奏楽・太鼓の演奏会が行われた。 ・委託先：伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 ・開催日：平成25年11月8日 ・開催場所：伊勢市観光文化会館 ・委託料：1,962,579円</p> <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛パレード」「中学生吹奏楽」 ・内容：伊勢まつりにおいて小学生による鼓笛パレード、中学生による吹奏楽が行われた。 ・委託先：伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 ・開催日：平成25年10月12日 ・開催場所：小学生連合鼓笛隊パレードは、県道鳥羽松阪線 尼辻交差点～伊勢市駅前 中学生吹奏楽は、一之木交差点本部前 ・委託料：1,099,507円</p>	207
2. 学校教育支援事業	109,146	<p>学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた指導・支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。</p>	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 就学指導委員会経費	142	次年度就学予定児及び小中学校に在籍する児童生徒について、障がいの種類や程度等を的確に把握するとともに、その保護者等に適切な情報を提供し、観察活動・教育相談を通じ、一人ひとりに応じた就学指導を行った。	207
4. 特別支援教育推進事業	504	子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・大学教授・特別支援学校教諭・保健師等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会、保護者啓発のための講演会等を実施した。	207
5. <u>子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業</u>	1,970	<p>自然や環境、伝統文化、福祉やボランティア等に関する体験学習など、創意工夫を生かした学習活動を通して、児童・生徒が、「やさしいまち伊勢市」のまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。また、幼稚園において地域の人とのふれあいを通じた体験を行うことで、地域のよさや愛着を感じることができるよう支援した。</p> <p>①「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施 ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。今年度の応募総数は490点。そのうち、市長賞3点、教育長賞3点、優秀賞各部門小中学校で計6点、入賞各部門小中学校で計18点を決定した。また学校賞として1校を決定した。入選作品集を作成し、入賞者の他小中学校36校、各関係機関に配布した。</p> <p>②事業委託校の取組 事業委託をうけた小学校11校、中学校5校、幼稚園4園が、児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を展開した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 事業委託料 1,850,000円 需用費 130,000円 報償費 20,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成24年度 事業委託料 900,000円 需用費 138,282円 平成23年度 事業委託料 900,000円 需用費 108,347円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・事業開始から平成25年までの4年間で市内全小中学校への事業委託が完了した。その中で事業委託の有用性について各校の認識も得られたことから、今年度はさらに事業内容の幅をもたせて委託校数を増やした。今後も、本事業の目的に沿った各校の特色ある取り組みが進められることが必要である。</p>	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 学びのグレード アップ総合推進事業	9,166	<p>児童生徒の学力を向上させるために、学力検査を全小中学校で実施し、きめ細かな指導に生かした。研究指定校5校で教育課程一般について研究を進めた。指定校においては、研究の成果を市内の全小中学校に向けて公開し、研究協議を行った。不登校・外国語活動・歴史資料を使った社会科授業といった特定の教育課題に対する教育力向上のために、研究指定校3校で研究を進めた。授業改善事例集を作成し、関係各所に配付し、報告と成果の還元に努めた。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 目標基準準拠検査（CRT）の全小中学校での実施 （小2・3国語算数、小4・5国語算数社会理科、中1国語数学社会理科、中2国語数学社会理科英語） 教育課程一般についての研究指定校6校（うち外国語活動の研究指定校1校を含む。） 不登校に対する教育力向上のための研究指定校1校 歴史資料を使った社会科授業の研究指定校1校 CRT研修会1回 授業改善事例集の作成と配付</p> <p>【過去2カ年度の実績】 23年度は新規におこなわれた事業である、23年度から小学校5年生と中学校2年生に対して目標基準準拠検査を行い、学力の実態把握を行った。また小学校4校・中学校2校の新教育課程一般に関わる研究指定校を指定した。さらに学習意欲を向上させるために道徳や総合的な学習の時間の研究指定校を小学校5校・中学校3校の計8校指定した。授業改善事例集を作成し配付した。 24年度は、小学校5年生と中学校2年生に対して目標基準準拠検査を行い、学力の実態把握を行った。また小学校4校・中学校2校の研究指定校を指定した。さらに学習意欲を向上させるために道徳や総合的な学習の時間の研究指定校を小学校4校・中学校4校の計8校指定した。授業改善事例集を作成し、配付した。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 全国的に学力低下が危惧され、学力向上への取組の必要性が高まっている中、本事業にかけられる期待は大きいといえる。学力向上には、学力検査による学力の実態把握とその分析を基にした授業改善の取組の研究が欠かせない。また不登校や外国語活動、日本や地域の歴史といった取り組みまなければならない特定の教育課題に対する教育力を向上させることは喫緊の課題といえる。</p>	207
7. 未来へチャレンジ！ 職場体験推進事業	1,692	<p>キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施した。職場体験学習参加生徒数：1,193名、協力事業所数：のべ350事業所</p>	207
8. 奨学金育英事業補助金	4,626	<p>国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。</p> <p>県外大学：11人 県内大学：9人 公立高校：26人 私立高校：6人 公立高専（1～3年）：1人 私立高専（1～3年）：1人 県内高専（4～5年）：2人</p>	207
9. 非核・平和運営事業	1,008	<p>各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事2名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビ、報告文集を作成し、広く市民に平和の尊さを伝えた。</p>	209

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 196,141 千円
 決算額 188,127 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			9	188,118

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 教育研究研修推進 経費	2,659	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進めるとともに、教職員・保護者・市民対象の研修講座を開催し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。 研究 8件 研修講座 25講座	頁 209
2. <u>子どもリレーションシップ総合推進事業</u>	42,222	「いじめ」の早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」の研究を行った。 全小中学校で、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(hyper-QU)を実施し、その結果・分析に基づいた研修会を行い、学級集団づくりを支援した。また、非常勤講師を配置し研究体制の強化を図った。 ・非常勤講師賃金 35,911千円 ・活動消耗品 0千円 ・研修会参加経費 165千円 ・hyper-QU実施委託経費 5,418千円 ・生活指導負担金 728千円 【当初予算における内容、計画】 46,435千円 ・非常勤講師賃金 39,214千円 ・活動消耗品 53千円 ・研修会参加経費 266千円 ・hyper-QU実施委託経費 6,132千円 ・生活指導負担金 770千円 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 30,536千円 ・非常勤講師賃金 24,912千円 ・活動消耗品 15千円 ・研修会参加経費 239千円 ・実践事例集等製作助言者経費 67千円 ・実践事例集等印刷経費 551千円 ・hyper-QU実施委託経費 4,012千円 ・生活指導負担金 740千円 平成23年度 29,463千円 ・非常勤講師賃金 23,014千円 ・研修会講師経費 512千円 ・活動消耗品 52千円 ・実践事例集印刷経費 1,126千円 ・hyper-QU実施委託経費 4,005千円 ・生活指導負担金 754千円 【事業を取り巻く状況】 いじめが社会問題になっている今、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け、平成24年度までは13~24校の研究指定校で実施していた非常勤講師の配置と「子どもの人間関係づくり」の研究を、平成25年度は全ての小中学校で実施し研究体制を強化した。今後は、小中学校の統廃合も予定されていることから、支援の方法について、再検討する必要がある。	209

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. スクールサポート 事業	21,170	<p>小中学生の教育、不登校及びいじめ等の問題について、学校や保護者等からの相談に対し、教育コンサルタントが電話や面接等により対応するとともに、状況に応じ学校訪問や家庭訪問を行った。さらに、児童生徒・保護者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施し、専門的かつ継続した指導及び心のケアを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談件数 125件 ・カウンセリング 624件 	209
4. <u>不登校対策ハート ニーハート総合推 進事業</u>	4,177	<p>登校しぶり、ひきこもりや、学校に行きたくても行けない児童生徒の社会的に自立した学校復帰を目的に、教育支援センター「NEST」では、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。また、学校にも教育支援センターにも来ていない児童生徒に対しての支援も充実させた。</p> <p>通級児童生徒数 24名 相談件数(述べ件数) 1,510件 (電話 1,147件、来所 200件、学校訪問 163件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援員賃金 1,959千円 ・活動支援員経費 172千円 ・研修会等助言者経費 215千円 ・体験活動経費 112千円 ・活動消耗品 169千円 ・保護者用資料集印刷経費 1,250千円 ・研究委託経費 300千円 <p>【当初予算における内容、計画】 4,940千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援員賃金 2,177千円 ・活動支援ボランティア経費 330千円 ・研修会等助言者経費 429千円 ・体験活動経費 235千円 ・活動消耗品 209千円 ・保護者用資料集印刷経費 1,260千円 ・研究委託経費 300千円 <p>【過去2ヵ年度の実績】 H25新規事業のためなし</p> <p>【事業を取り巻く状況】 不登校の児童生徒数は増加傾向にあり、児童生徒の人間関係能力や社会適応能力の向上が急がれる。不登校児童生徒の学校復帰を支援するとともに、誰もが安心して生活できる居心地のよい学校づくりを進め、不登校の未然防止にも取り組む必要がある。</p>	209
5. 小学校教育用コン ピュータ管理経費	55,912	<p>小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。</p>	209
6. 中学校教育用コン ピュータ管理経費	24,279	<p>中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。</p>	209

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 39,392 千円
 決算額 39,276 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				39,276

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権教育研究委託経費	700	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市内各小中学校等の加盟団体にて、実践の交流・研修会の開催・人権教育のカリキュラムの研究等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	211
2. 子ども人権フォーラム21開催事業	632	市内全小中学校の代表者が、小学生の部(11月27日)・中学生の部(12月4日)に分かれ、伊勢市生涯学習センターいせトピアにて一堂に会し、人権問題に係る人権作文の発表を聞いた後、自校の人権学習や生活の場で学んだことをもとに自らの体験等を発表しあった。その学びをすべての学校で還元し、人権学習をより充実させることができた。	211
3. 人権教育推進一般経費	614	先進的な取組を学ぶことができる研修会に参加し、最新の情報や資料を得ることができた。 「小中学校人権教育授業実践事例集(CD-ROM・各学校に1部ずつ配付)」「人権の芽(1,100部)」を作成・印刷し、各学校へ配付するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に役立たせることができた。	211
4. 中学校区ヒューマン・ライツ推進事業	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成25年度は、宮川・港・豊浜・五十鈴・小俣・御菌中学校区を研究指定校区に指定し実施した。	211

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 15,208 千円
 決算額 14,197 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				14,197

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	383	子ども人権スクールを開催し、市内小中学生及び高校生に人権学習の場と機会を提供した。また、小中学校への出前学習やコラボ学習、教職員研修を実施し、人権教育の推進に努めた。	211
2. 教育集会所管理経費	13,814	人権教育の拠点としての教育集会所を管理運営するために、嘱託職員(4名)を設置するとともに、光熱水費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者(市内小中学生等)が安全快適に利用できるように体制を整えることができた。	211

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 588,331 千円
 決算額 569,103 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
62,119		12,100	110	494,774

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校整備事業	64,655	小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・プールろ過機取替工事(早修小、御園小) 11,801千円 ・プール改修工事(城田小、上野小) 12,417千円 ・防球ネット設置工事(神社小、厚生小) 5,601千円 ・屋外給水設備改修工事(四郷小) 9,292千円 ・屋外階段塗装改修工事(修道小) 1,385千円 ・屋内運動場倉庫増築工事(浜郷小) 9,082千円 ・屋内運動場床修繕工事(有絹小) 693千円 ・教室床フローリング改修工事(浜郷小) 914千円 ・音楽室改修工事(明野小) 2,065千円 ・間仕切工事(豊浜東小) 494千円 ・高圧引込工事(神社小) 1,207千円 ・高圧受電設備改修工事(四郷小) 244千円 ・上水道直結工事(大湊小) 840千円 ・シャワー設置工事(明野小) 1,134千円 ・トイレ改修工事(神社小、城田小、二見小) 3,980千円 ・揚水ポンプ取替修繕工事(小俣小) 892千円 ・道路拡幅工事に伴う測量委託、設計委託料(四郷小) 2,573千円 ・建築確認、完了検査手数料 41千円	213

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. エレベーター防災 対策改修事業	35,260	改正建築基準法に適合するよう既設エレベーターの改修を行った。(小俣小、早修小、有緝小、御菌小) ・防災対策改修工事 35,132千円 ・建築確認、完了検査手数料 128千円	213
3. 空調設備整備事業	64,950	近年の猛暑により室内でも熱中症を発症する恐れがあるため、空調設備未整備校に空調設備の設置等を行った。 ・空調設備リース料(平成25年度設置) (早修小、佐八小、神社小、大湊小) 25,122千円 ・過年度設置済みのリース料 (豊浜西小、豊浜東小、北浜小、東大湊小) 7,387千円 ・空調設備設置工事(城田小 継続事業) 23,140千円 ・空調設備改修に伴う設計業務委託 (中島小、城田小、上野小) 9,301千円	213

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経 費	618	学校評議員から学校運営についての助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	211

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 92,082 千円
決算額 89,546 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,341	255			80,950

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経 費	41,240	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 26,277,624円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 14,913,183円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 1校(城田小学校) ・整備額 49,140円	213

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 学校図書館充実経費	9,856	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校(小学校全校)	213
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	34,173	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者559人 (要保護 4人、準要保護 555人)	213
4. 教科書等購入経費	1,542	主たる教材の「教科書」と参考資料である「指導書」を購入することにより、教職員による効果的な指導を支援し、児童生徒に学習内容の確実な定着を図った。平成23年度に全教科書の買い替えがあったため、25年度は、少人数指導等による不足分を購入した。	213

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 336,449 千円
決算額 321,988 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,352		17,900		280,736

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校整備事業	53,910	中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・屋内運動場改修工事(厚生中) 4,877千円 ・屋内運動場屋根改修工事(倉田山中) 18,632千円 ・屋内運動場床改修工事(城田中) 17,840千円 ・下水道接続工事及びその設計に伴う試掘調査委託(御菌中) 8,451千円 ・洋式トイレ設置工事(宮川中、沼木中、豊浜中) 2,919千円 ・高圧受電設備改修工事(豊浜中) 435千円 ・パワーコンディショナ取替工事(倉田山中) 756千円	213
2. エレベーター防災対策改修事業	12,453	改正建築基準法に適合するよう既設エレベーターの改修を行った。(倉田山中、二見中)	215
3. 空調設備整備事業	33,853	近年の猛暑により室内でも熱中症を発症する恐れがあるため、空調設備未整備校に空調設備の設置等を行った。 ・空調設備リース料(平成25年度設置 沼木中) 4,009千円 ・過年度整備済みのリース料(豊浜中、北浜中) 3,780千円 ・空調設備増設工事(厚生中) 20,187千円 ・空調設備改修に伴う設計業務委託(五十鈴中、港中、城田中、倉田山中) 5,877千円	215

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	258	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	213

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 144,355 千円
 決算額 139,361 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,377	429			130,555

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	41,724	<p>○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 26,205,328円 <p>○理科教育設備整備</p> <p>科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 15,463,610円 <p>○特別支援教育設備整備</p> <p>新設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 1校(倉田山中学校) ・整備額 54,710円 	215
2. 学校図書館充実経費	7,996	<p>学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 12校(中学校全校) 	215
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	41,380	<p>経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象者 428人 (要保護 6人、準要保護 422人) 	215
4. 教科書等購入経費	1,225	<p>主たる教材の「教科書」と参考資料である「指導書」を購入することにより、教職員による効果的な指導を支援し、児童生徒に学習内容の確実な定着を図った。平成24年度に全教科書の買い替えがあったため、25年度は、少人数指導等による不足分を購入した。</p>	215

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. ALT活動事業	42,565	英語を母語とする青年を招致し、中学校の英語科及び小学校の外国語活動等で、担当教員とともに指導に当たった。 JETプログラムによる雇用3名と市直接雇用8名の計11名を1～2の中学校区に派遣し、小中学校の連携を図った。	215
6. スクールカウンセラー活用事業	431	中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者の教育相談を実施した。また、教職員に対する臨床心理学的な観点から適切な助言を行い効果をあげた。	215

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 15,942 千円
決算額 14,531 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				14,531

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 豊浜中学校・北浜中学校統合校整備事業	14,531	豊浜中学校と北浜中学校の統合を行うための統合校建設予定地の購入に伴う諸手続きを行った。 ・測量業務及び地質調査委託 13,691千円 ・不動産鑑定評価手数料 840千円	215

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 140,027 千円
決算額 137,967 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
615			17,996	119,356

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園教材整備経費	870	教材を整備することにより学習環境を整え、学習活動の充実化を図った。	217

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 74,584 千円
 決算額 73,923 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				73,923

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	863	社会教育委員兼公民館運営審議会委員 ○委員会議 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。(2回開催) ○全国社会教育研究大会への参加 第55回全国社会教育研究大会(三重大会)へ参加・運営協力。 ○研修会への参加 三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加	217

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 20,533 千円
 決算額 18,810 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,028	17,782

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館管理運営経費	18,810	公民館施設を市民が安心して、快適に利用できるよう老朽化に伴う施設の改修等を行い施設の維持管理に努めた。	217

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 64,172 千円
 決算額 59,557 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,227	627	2,500	589	46,614

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民芸能祭開催事業	1,280	第57回伊勢市民芸能祭を10月から11月の日祝を中心に観光文化会館・伊勢市生涯学習センターにおいて開催した。市内の舞台芸能74団体、1,568名が参加し、2,458人が鑑賞した。	219

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 美術展覧会開催事業	1,271	第60回美術展覧会を10月29日から11月4日までの7日間にわたり開催した。また、美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催による「美術セミナー」を開催した。 ○出品点数 294点 ○観覧者数 2,013人	219
3. 文化財保存整備事業補助金	300	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成25年度対象事業及び市補助金決算額】 ○市無形民俗文化財中小俣かんこ踊り修理事業 ・補助事業者 中小俣自治区 ・補助金 156千円 ○市有形文化財玄忠寺六字名号板碑覆屋修理事業 ・補助事業者 宗教法人 玄忠寺 ・補助金 144千円	219
4. 造船資料保存調査経費	3,779	所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして、適切な保存を図るための調査を継続的に実施している。平成25年度は、船舶設計図等紙資料の調査を行った。	219
5. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,685	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・円座町羯鼓踊保存会他20団体	219
6. 文化財案内板設置事業	500	市内の指定文化財に対し、文化財案内板等を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成25年度は、県指定天然記念物の「松下社の大クス」、市指定有形文化財の「六字名号板碑（玄忠寺）」、「左衛門太郎六字名号碑」、「極楽橋」の4件の文化財に対し、案内板を設置した。	219
7. 二見浦保存管理計画運営経費	236	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成25年度は現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を3回開催した。	219

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 旧豊宮崎文庫保存 修理経費	9,055	<p>「旧豊宮崎文庫」には、往時の文庫を偲ぶ建築物として門と練塀(ねりべい)が現存しているが、いずれも経年による破損がみられるため、平成23～25年にかけて保存修理を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,200,000円 ・保存修理工事報告書作成業務委託 ・門と練塀の左官工事等</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 8,113,493円 ・門と練塀の解体工事等 平成23年度 2,376,943円 ・調査設計委託 ・門と練塀の一部解体工事等</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・事業完了後は、別途事業で策定している保存管理活用計画によって史跡の公開等をすすめていく。</p>	219
9. 旧豊宮崎文庫保存 管理活用計画策定 経費	3,274	<p>大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、適切な保存管理及び活用を行うため、その基準となる保存管理活用計画を策定するものである。平成25年度は、史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画策定業務委託により、計画策定に向けて関係分野の専門家による史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画策定委員会を3回開催し、計画案を作成した。</p>	219
10. 宮川堤保存管理指 針策定経費	159	<p>昭和12年6月30日に県名勝に指定された「宮川堤」について、国交省が予定している宮川堤改修計画の現状変更に対応するため、その判断基準となる保存管理指針を策定するものである。平成25年度は、計画策定に向けて関係分野の専門家等による名勝宮川堤保存管理指針策定委員会を3回開催した。</p>	219
11. エレベーター防災 対策改修事業	4,842	<p>エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。 改修箇所 尾崎罌堂記念館</p>	219
12. 山田奉行所記念館 特別展開催事業	450	<p>山田奉行所記念館友の会に委託して、山田奉行所に関連する特別展示を開催し、常設展示を補完した。 ・夏季特別展「ご遷宮と山田奉行」 入館者数 756人 ・冬季特別展「伊勢湾・遠州灘を渡った人たち」 入館者数 739人</p>	221
13. 全市博物館構想推 進経費	210	<p>博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を10,000部作成し、市内博物館等で配布した。また、小学生の郷土学習に携わる小学校教員を対象に、社会科副読本に登場する偉人や史跡を現地に赴いて学ぶ「わたしたちの伊勢市フィールド講座」を開催した。</p>	221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 8,784 千円
 決算額 8,165 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,165

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 青少年健全育成推進事業	1,683	全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 また青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 平成25年9月8日、地域の青少年健全育成活動者を対象に、研修会「子どものネット被害防止に向けて～子どもが豊かに育つことができる社会～」を開催。伊勢市ならびに南勢志摩エリアの活動者139人が出席した。	頁 221
2. 飯田市交流会実施事業	1,213	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小学生が児童会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 平成20年度より夏季の隔年訪問交流とし、平成25年度は飯田市児童代表を伊勢市で受け入れた。 平成25年7月30日～31日、伊勢市の小学生81人と飯田市の小学生28人が、海浜体験、水族館見学、伝統芸能体験、レクリエーション、児童会活動発表等により交流を深めた。	221
3. 成人式開催事業	1,351	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日になみ、平成26年1月12日、伊勢市観光文化会館 大ホールにて、「新成人のつどい」を開催した。 新成人代表26人からなる実行委員会において企画運営を行い、地元企業から協賛をいただき、思い出の写真上映や実行委員作成の記念冊子を配布した。 成人者数 男652人 女644人 計1,296人 出席者数 男532人 女528人 計1,060人	221
4. 青少年対策一般経費	60	平成26年2月4日、伊勢市青少年問題協議会を開催し、青少年の非行概況と傾向、市内小中学校の生徒指導の状況、相談センターの現状、平成25年度の主な活動についての確認と、平成26年度の方針を決定した。	221
5. 相談センター管理運営事業	3,858	青少年指導員による街頭指導を472回実施し、延1,469人が参加した。合計565人の少年(内女子133人)を指導した。 環境浄化活動として、市内、コンビニ、カラオケ等に立入調査を10回実施し、49人が参加し、延べ184箇所を調査を行った。	221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 232,782 千円
 決算額 226,865 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
41,265	16,600		30	168,970

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 図書整備経費	27,710	<p>閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料について、利用者のニーズや分野別のバランスをとりながら購入し、図書館利用の促進を図った。</p> <p>購入図書 伊勢図書館 7,682冊 小俣図書館 5,447冊</p> <p>購入雑誌 伊勢図書館 2,003冊 小俣図書館 2,145冊</p> <p>購入視聴覚資料 伊勢図書館 34点 小俣図書館 50点</p>	221
2. ブックスタート支援事業	1,406	<p>子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。</p> <p>配付数 1,066人</p>	221
3. 図書館運営経費	156,356	<p>伊勢市立伊勢図書館では、平成18年4月より民間の能力を活用し、施設の効果的で効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。</p> <p>伊勢市立小俣図書館でも、伊勢図書館の指定管理者制度更新に合わせ、平成21年4月から指定管理者制度を導入している。</p> <p>指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種図書館行事を開催するなど、市民の図書館利用促進に取り組んだ。</p>	221
4. エレベーター防災対策改修事業	41,393	<p>安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベータの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。</p>	221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 6,204 千円
 決算額 5,972 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,401		419	4,152

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	3,561	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、通年講座・前期講座・後期講座・短期講座として各種教室を実施した。 (小俣公民館講座) 全19講座 受講者数327人 (二見公民館) 全11講座 受講者数138人 (御園公民館) 全16講座 受講者数246人 2. 団体への助成 小俣、二見、御園地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む伊勢文化サークル協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	223
2. <u>放課後子どもプラン推進事業</u>	2,411	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会の主導のもと、教育部局と福祉部局が連携を図り、総合的な放課後対策として実施している。 教育部局が実施する「放課後子ども教室」は、伊勢文化サークル協会に委託をし、市内の小学生を対象としたさまざまな体験活動を中心に事業を実施した。 決算額：2,411,000円 ○実施教室数：125教室 ○参加人数：2,067人 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,152,000円 ・数値目標 教室：72教室 人数：1,400人 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度 1,066,000円 ○実施教室数：46教室 ○参加人数：1,018人 平成23年度 1,886,000円 ○実施教室数：39講座 ○参加人数：3,262人 【事業を取りまく状況等】 ・伊勢文化サークル協会への委託により好評を得ているが活動拠点が限定されているため、全小学校区で展開できるよう取り組む必要がある。 ・今後は学校とも連携を図り、ニーズを踏まえた事業展開を図りたい。また、講師については、伊勢文化サークル協会のみならず、新たな人材を発掘していきたい。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 155,648 千円
 決算額 148,526 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,516			767	89,243

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習センター施設維持管理経費	110,226	1. 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入し、平成21年4月からは第2期目の指定管理期間となった。(平成21年4月～平成26年3月) 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んだ。 2. 二見生涯学習センター 市民が安心して快適に利用できるよう、施設の修繕等維持管理を行った。	223
2. エレベーター防災対策改修事業	38,300	安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 8. 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 8,248 千円
 決算額 7,479 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,381	6,098

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学習等供用施設維持管理経費	7,479	市民が安心して、快適に利用できるよう施設の維持管理に努めた。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 143,878 千円
 決算額 126,457 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,700		64,700	1,285	45,772

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持補修経費	68,173	施設運営に必要な維持補修工事として、会館の空調設備改修工事及び舞台音響設備の改修工事を施工した。	223

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. エレベーター防災 対策改修事業	14,764	エレベーターの不具合による事故を受け、安全に係る技術基準の見直しを図るべく平成21年9月28日に施行された建築基準法施行令の一部改正に伴い、不適格となっていたエレベーターの改修工事を地域の元気臨時交付金を活用し行った。	223

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 79,541 千円
決算額 77,797 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			13,727	64,070

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理 事業	73,227	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	225
2. 児童生徒結核検診 事業	36	結核問診と学校医による定期健康診断により結核の早期発見・早期治療及び児童生徒への感染防止に努めた。また、感染が疑われる対象者に精密検査を実施した。	225
3. 教職員健康管理事 業	3,696	県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	225

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 554,287 千円
決算額 540,107 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				540,107

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	145,165	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	225
2. 学校給食施設維持 管理経費	3,164	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努めた。	225
3. 給食施設整備経費	6,658	老朽化による備品の更新、及び衛生を維持するために施設の改修を行った。	225

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 中学校給食共同調理場管理経費	145,047	中学校給食共同調理場における「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	225
5. <u>食育推進事業</u>	660	<p>児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作ることを中心に、栄養教諭・学校栄養補助員、食育担当者が連携しそれぞれの地域にあった取組を実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における食育推進のための研究事業 1校 ・学校における食育推進体制整備事業 業務委託 3校 ・地域の力を活用した特色ある食育推進事業実施校 5校 ・給食調理士調理講習会 2回・食育担当者連絡協議会 3回 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成24年度 有緝小学校（委託校）が、地域に目を向けた食育の研究に取組み、食育研究会を開催し、研究成果を伊勢市内外の学校（園）に公開した。</p> <p>平成23年度 有緝小学校（委託校）が、食育の研究会を実施し研究成果を伊勢市内小中学校及び幼稚園に周知した。</p> <p>【事業を取りまく状況】</p> <p>新学習指導要領に食育が明記され学校は教育活動全体を通じて食育を推進する責務があり、食事を楽しみ、栄養や食事のとり方などについて、自ら判断し、実践していく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身につけさせるため、本事業の役割は大きい。</p>	225

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 86,377 千円
決算額 76,743 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			5,547	71,196

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ推進委員 事業	2,720	いせスポーツフェスティバルを筆頭に、各種スポーツ教室やウォーキング等の様々なスポーツ行事を開催し、市民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図ることができた。	227
2. 総合型地域スポーツ クラブ育成事業	2,900	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室や大会等を開催し、スポーツをする場を提供した。 なお、平成25年度末においては、7団体、会員総数2,769人であった。	227

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 集客誘致大会開催事業	22,346	集客による伊勢市への経済波及効果を図り、全国規模の大会を開催した。 お伊勢さんマラソン（当日参加者数10,587人）、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会（27人）、神宮奉納全日本ソフトテニス大会（290人）、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会（886人）の4大会を開催した。	227

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 1,019,388 千円
決算額 1,006,593 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
445,241		389,100	66,311	105,941

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>体育施設整備事業</u>	25,240	<p>体育施設の修繕及び老朽化した備品の購入を行った。</p> <p>①大仏山スポーツセンター 多目的グラウンド補修工事 22,241千円</p> <p>②市営庭球場防球壁修繕工事 1,050千円</p> <p>③宮川スポーツグラウンド 移動式トイレ購入 1,949千円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 30,722千円 体育施設の老朽箇所の大規模な修繕や改修を行い、各施設の機能を修復、向上させる。 (対象施設名) ・大仏山公園スポーツセンター ・市営庭球場 ・宮川スポーツグラウンド</p> <p>【過去2か年度の実績】 平成24年度 23,832千円 ・五十鈴公園球技広場グラウンド改修工事 ・二見テニスコート人工芝張替工事 ・小俣総合体育館排煙窓オペレーター修繕工事 ・大仏山公園スポーツセンター吊橋修繕工事 平成23年度 8,348千円 ・倉田山公園野球場スコアボード修繕業務委託 ・二見スポーツ公園台帳作成業務委託 ・市営庭球場耐震補強設計業務委託 ・市営庭球場耐震補強工事 ・北浜スポーツグラウンドベンチ屋根設置工事 ・大仏山公園スポーツセンター高圧機器改修工事 ・大仏山公園スポーツセンター照明用安定器改修工事 ・小俣総合体育館空調機監視盤改修工事</p> <p>【事業を取りまく状況等】 老朽箇所の修繕や改修を計画的に行い、市民が安全で快適に利用してもらうことにより、健康の増進や競技力向上を図る。今後は、指定管理の導入に向け、施設のあり方も含め、検討を行っていく。</p>	229

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 倉田山公園野球場 改修事業	866,573	<p>建築後40年が経過した倉田山公園野球場の改築を行うため、昨年に引き続き事業を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>平成24年度から一部繰越 579,595千円 (内、平成24年度から繰越額 358,815千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉田山公園野球場メインスタンド改築工事 (建築工事)、(電気設備工事)、(機械設備工事) <p>平成24年度から繰越 486,880千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉田山公園野球場メインスタンド改築工事 監理業務委託 倉田山公園野球場内外野スタンド整備工事 倉田山公園野球場内外野グラウンド改修工事 伊勢市倉田山公園野球場スコアボード整備工事他 <p>平成25年度現年度分 20,878千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 倉田山公園野球場ホームラン判定ライン取替工事他 	229
3. 倉田山公園野球場 改修記念事業	16,975	<p>新球場として3月10日にオープンし、3月中はリニューアル・オープンイベントとして、プロ野球オープン戦を始め、関係団体による各種大会等が行われた。なお、一般利用については平成26年4月1日から開始。</p>	229

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 1,359 千円
 決算額 1,357 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,357

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 漁港等災害復旧事業	1,357	平成25年9月15日～16日に発生した台風18号、平成25年10月15日～16日に発生した台風26号により、漁港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。	229

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,833,375 千円
 決算額 4,833,374 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			44,549	4,788,825

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,832,325	過去に借入れた市債の元金の支払いを行った(通常償還)。 ・借入利率 0.2%~4.85% ・借入年度 昭和62年度~平成23年度 ・未償還残高 49,679,423千円(生活支援課分含む)	233

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	1,049	過去に三重県より市が借入した災害援護資金県貸付金について、それぞれ県に償還した。 (施策の概要) 災害援護資金県貸付金 … 1,048,702円 ・平成25年度上半期償還額 … 1,000,262円 ・平成25年度下半期償還額 … 48,440円 県貸付要綱に基づき、上記のとおり災害援護資金貸付金の償還を行った。	233

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 622,001 千円
 決算額 620,731 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,434	606,297

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	620,565	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.1%~4.85% ・借入年度 昭和62年度~平成24年度	233

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,931,296 千円
決算額 7,495,780 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,782,628	445,145			5,268,007

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,495,780	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 514,547件 (2) 年度平均被保険者数 32,267人	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 407,852 千円
決算額 407,852 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			401,773	6,079

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	407,852	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 28,384件 (2) 年度平均被保険者数 1,434人	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 78,000 千円
決算額 61,456 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,529	1,340			46,587

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	61,456	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 9,390件	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,360 千円
 決算額 3,218 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,170	48

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	3,218	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 524件	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 917,600 千円
 決算額 886,908 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
195,243	19,345	118,050		554,270

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	886,908	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 26,286件	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費

(目) 2. 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 60,000 千円
 決算額 59,966 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			59,073	893

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等高額療養費	59,966	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 1,109件	251

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 65,520 千円
 決算額 42,784 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				42,784

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	42,784	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 102件	251

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 13,200 千円
 決算額 10,600 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				10,600

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	10,600	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 212件	251

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 176,421 千円
 決算額 151,153 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,290	28,290			94,573

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業費	138,198	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 13,923人	255
2. 特定保健指導事業費	12,955	特定保健指導の実施 (1) 動機付け支援 593人 (2) 積極的支援 42人	255

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,494,217 千円
 決算額 2,471,088 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,471,088

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,471,088	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 1,059,169千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 245,968千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 12,603千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 42,585千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 1,110,763千円	265

【介護保険特別会計】

○保険事業勘定

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 823 千円
決算額 687 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				687

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護保険推進協議会運営事業	687	本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るため伊勢市介護保険推進協議会を開催した。	277

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 11,279,156 千円
決算額 11,015,099 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,665,891	1,587,572		3,192,313	3,569,323

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護サービス等給付事業	9,830,916	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護サービス給付費負担金 支給件数 93,164件 4,925,768千円 ・地域密着型介護サービス給付費負担金 支給件数 5,269件 918,933千円 ・施設介護サービス給付費負担金 支給件数 14,087件 3,431,128千円 ・居宅介護福祉用具購入費負担金 支給件数 504件 13,027千円 ・居宅介護住宅改修費負担金 支給件数 442件 41,567千円 ・居宅介護サービス計画給付費負担金 支給件数 36,754件 500,493千円 	279
2. 介護予防サービス等給付事業	522,574	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス給付費負担金 支給件数 18,583件 430,167千円 ・地域密着型介護予防サービス給付費負担金 支給件数 151件 10,787千円 ・介護予防福祉用具購入費負担金 支給件数 169件 3,359千円 ・介護予防住宅改修費負担金 支給件数 223件 23,128千円 ・介護予防サービス計画費負担金 支給件数 12,982件 55,133千円 	279

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 高額介護サービス 等給付事業	176,883	<ul style="list-style-type: none"> ・高額介護サービス費負担金 支給件数 19,009件 176,700千円 ・高額介護予防サービス費負担金 支給件数 209件 183千円 	279
4. 特定入所者介護 サービス等給付事 業	462,329	<ul style="list-style-type: none"> ・特定入所者介護サービス費負担金 支給件数 13,212件 462,015千円 ・特定入所者介護予防サービス費負担金 支給件数 72件 314千円 	281
5. 高額医療合算介護 サービス費等給付 事業	22,397	<ul style="list-style-type: none"> ・高額医療合算介護サービス費負担金 支給件数 901件 22,318千円 ・高額医療合算介護予防サービス費負担金 支給件数 15件 79千円 	281

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 8,407 千円
決算額 7,597 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,574	1,787		2,236	

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 運動器機能向上事 業	791	<p>基本チェックリストの結果、運動器の機能が低下している高齢者を対象に、転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。</p> <p>延べ34回、190人の参加を得て要介護状態になることを予防した。</p>	281
2. 口腔機能・低栄養 改善事業	155	<p>基本チェックリストの結果、口腔機能が低下している高齢者を対象に、口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。</p> <p>延べ34回、81人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。</p>	281
3. 認知症予防事業	507	<p>基本チェックリストの結果、認知機能低下の恐れのある高齢者を対象に、脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。</p> <p>延べ25回、91人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。</p>	281

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 介護予防普及啓発事業	3,551	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ203回、3,731人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	281
5. 地域介護予防活動支援事業	90	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ429回、4,802人が活動を行い、その内の延べ61回、951人に支援を行い、活動が継続された。	281

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二次予防事業対象者把握事業	2,495	要介護状態となるおそれのある二次予防事業対象者の早期発見と、介護予防についての啓発を行うために、一定の年齢の方を対象に「いきいきチェック」を行った。	281

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 135,703 千円
決算額 127,956 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
54,165	27,083			46,708

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	89	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者（二次予防事業対象者）に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、必要な対象者にケアマネジメントを行った。	283
2. 総合相談事業・権利擁護事業	5,538	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	283
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	3,643	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	283

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 地域包括支援センター運営事業	51,564	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	283
5. 在宅介護支援事業	6,305	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	283
6. 介護用品支給事業	21,884	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプー、使い捨て手袋の購入費用の一部をクーポン券により補助した。 配布者数 551人	283
7. 介護相談員派遣事業	4,512	通所サービスや施設サービスを提供している事業所を介護相談員が2人1組で訪問し、利用者から不満や要望などを聞き取り、利用者・事業所・事務局との橋渡しを行った。 介護相談員 10名 延べ活動日数 690日	283
8. 介護給付費等費用適正化事業	2,218	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 4回	283

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 食の自立支援事業	7,328	おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	283
2. 高齢者住宅等安心確保事業	8,463	高齢者の生活面・健康面での不安に対応するため、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し生活指導・相談、安否確認、一時的な家事支援、緊急時の対応などのサービスを提供することによって高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう自立した在宅生活を支援した。	283

○介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費 (項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 30,139 千円
 決算額 28,860 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,915	17,945

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防サービス 計画作成事業	12,550	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	289

【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 683,086 千円
 決算額 505,597 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			505,597	

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐車場管理運営経費	505,597	<p>神宮周辺では、交通渋滞が頻繁に発生しており、来訪された方だけでなく、地域住民の生活にも支障をきたしている。このため、内宮周辺駐車場の駐車場収入により交通誘導や情報発信、パーク&バスライドなどの交通対策を行い観光振興や地域住民の生活環境の改善を図った。</p> <p>【駐車場使用料収入】 600,787,400円 【利用台数】 1,028,969台</p>	309

平成25年度 都市計画税充当状況

都市計画税は、「都市計画法」に基づいて実施する都市計画事業の財源として課税する目的税であり、本市では一般会計の歳出において下表のとおり各事業に充当した。

(単位:千円)

事業名	都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳				一般財源のうち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
街路・道路整備事業	501,424	221,058	265,300	10,167	4,899	3,926
八日市場高向線整備事業(交付金)	16,129	7,975	7,700	0	454	
【繰越】 八日市場高向線整備事業(交付金)	138,438	72,600	62,500	3,338	0	
八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	155,194	84,949	66,000	0	4,245	
【繰越】 八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	45,565	24,077	20,400	1,088	0	
伊勢市駅前広場整備事業(交付金)	133,873	31,457	97,200	5,216	0	
県営事業地元負担金(街路分)※1	3,500	0	3,300	0	200	
【繰越】 県営事業地元負担金(街路分)※2	8,725	0	8,200	525	0	
公園整備事業	378,516	162,243	205,300	5,579	5,394	
倉田山公園整備事業(防災交付金)	9,181	4,591	4,300	0	290	
【繰越】 倉田山公園整備事業(防災交付金)	178,051	67,972	104,500	5,579	0	
倉田山公園整備事業(交付金)	191,284	89,680	96,500	0	5,104	
公債費(都市計画事業分)	647,278	0	0	0	647,278	518,644
旧伊勢分	489,940	0	0	0	489,940	
旧二見 H18借入以降分 (茶屋25号線、二見浦交通広場)	392	0	0	0	392	
旧小俣 H18借入以降分 (下卯起宮川駅野依橋線)	71,984	0	0	0	71,984	
旧御園 H18借入以降分 (八日市場高向線ほか1線、秋葉山高向線、高向神田線、高向西公園)	84,962	0	0	0	84,962	
下水道整備事業	1,126,143	0	0	0	1,126,143	902,344
公共下水道事業繰出金(建設改良事業費)	28,076	0	0	0	28,076	
公共下水道事業繰出金(地方債償還金・旧伊勢分)	961,577	0	0	0	961,577	
" (地方債償還金・旧二見 H18借入以降分)	31,977	0	0	0	31,977	
" (地方債償還金・旧小俣 H18借入以降分)	47,963	0	0	0	47,963	
" (地方債償還金・旧御園 H18借入以降分)	56,550	0	0	0	56,550	
合 計	2,653,361	383,301	470,600	15,746	1,783,714	1,429,236

注) 県営事業地元負担金(街路分)は、次の県事業が対象

※1: ウォークギャラリー整備事業 ※2: 無電柱化推進事業、ウォークギャラリー整備事業

【費目別不納欠損の状況】

※上段()書は平成24年度実績値

(単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
○一般会計				
市税				
市民税		(936)	(40,936,602)	課税課(収税課)
		830	44,033,028	
	消滅時効	751	32,545,710	
	処分執行停止の継続	24	5,328,066	
	無財産等徴収不能	55	6,159,252	
固定資産税		(749)	(45,889,516)	課税課(収税課)
		725	64,263,876	
	消滅時効	668	26,881,377	
	処分執行停止の継続	9	22,415,480	
	無財産等徴収不能	48	14,967,019	
軽自動車税		(756)	(5,483,733)	課税課(収税課)
		677	4,279,600	
	消滅時効	617	3,190,000	
	処分執行停止の継続	8	111,200	
	無財産等徴収不能	52	978,400	
都市計画税		(749)	(7,724,633)	課税課(収税課)
		725	11,458,771	
	消滅時効	668	4,786,881	
	処分執行停止の継続	9	3,991,620	
	無財産等徴収不能	48	2,680,270	
分担金及び負担金				
保育所負担金		(74)	(3,651,565)	こども課
	消滅時効	38	2,892,840	
諸収入				
生活保護法第63条返還金		(4)	(1,407,431)	生活支援課
	消滅時効	0	0	
生活保護法第78条返還金		(1)	(70,000)	生活支援課
	消滅時効	0	0	
一般会計 計		(3,269)	(105,163,480)	
		2,995	126,928,115	
○国民健康保険特別会計				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(1,046)	(96,919,200)	医療保険課
		834	79,280,341	
	消滅時効	834	79,280,341	
国民健康保険税				
国民健康保険税		(32)	(5,653,400)	医療保険課
		11	2,124,000	
	消滅時効	11	2,124,000	
国民健康保険特別会計 計		(1,078)	(102,572,600)	
		845	81,404,341	

費 目	事 由	対 象 人 数	不 納 欠 損 額	所 管 課
○後期高齢者医療特別会計				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(19)	(516,462)	医療保険課
		29	608,938	
	消滅時効	29	608,938	
○介護保険特別会計				
保険料				
介護保険料		(272)	(7,751,820)	介護保険課
		277	8,844,504	
	消滅時効	277	8,844,504	
○農業集落排水特別会計				
使用料及び手数料				
荘地区過年度使用料		(2)	(4,200)	料金課
	消滅時効	11	60,456	
西地区過年度使用料		(2)	(4,200)	料金課
	消滅時効	4	15,423	